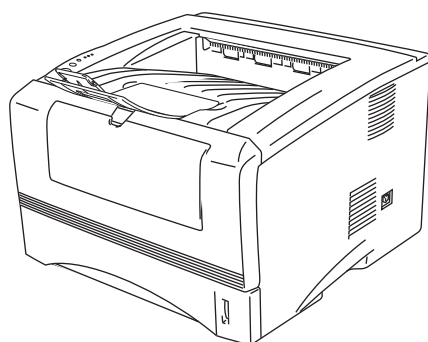
本書をよくお読みになって、製品をご利用ください。

IPSiO NX60S

オンラインマニュアル

やりたいこと目次
やりたいこと別の目次があります。

●クイックセットアップガイドおよびCD-ROMは大切に保管してください。

Version 1

安全にお使いいただくために

お使いになる前の注意事項

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うおそれがある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うおそれが想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	特定しない禁止事項		分解してはいけません		水にぬらしてはいけません		火気に近づけてはいけません
	特定しない義務行為		電源プラグを抜いてください		アースをつないでください		
	特定しない危険通告		感電の危険があります		やけどの危険があります		

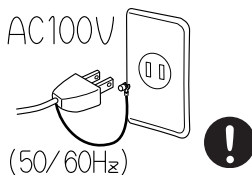
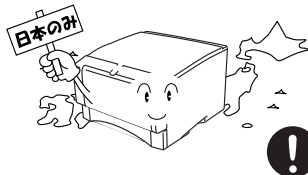
取扱説明書等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へ申し出ていただければ購入できます。

ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

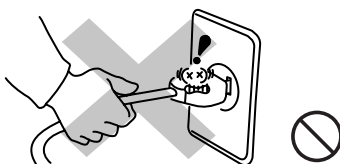
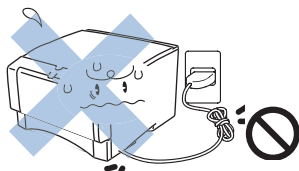
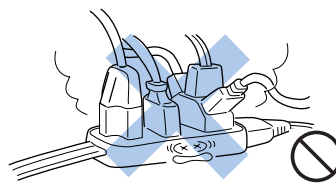
電源について

火災や感電、やけどの原因になります。

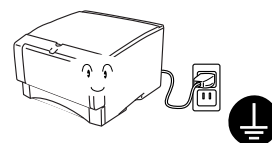
 警告

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。

国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

警告

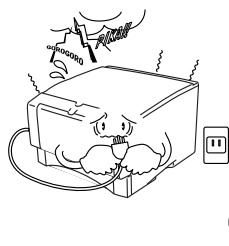
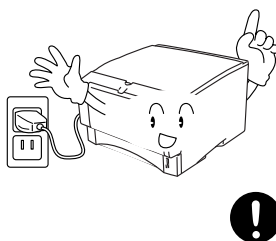
電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。

電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、束ねたりしないでください。

タコ足配線はしないでください。

保護接地線のない延長用コードを使用しないでください。保護動作が無効になります。

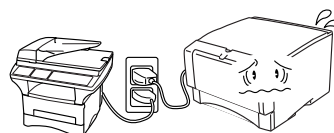
同梱されている電源コードは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。
また、同梱されている電源コード以外は、本機に使用しないでください。

必ず接地接続を行ってください。
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、アース線を接地してください。
接地接続は必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。
又、接地接続を外す場合は、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

接続するところ
例）・電源コンセントのアース端子
・銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
・設置工事（第３種）が行われている設置端子

絶対に接続してはいけないところ
・電話専用アース線
・避雷針

注意

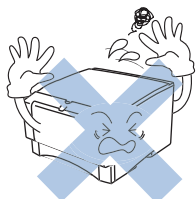
雷が激しいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。

お願い

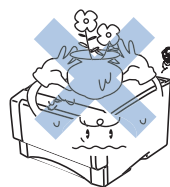
電源コンセントの共用にはご注意ください。
コピー機などと同じ電源は避けてください。

定期的にプラグを清掃してください。

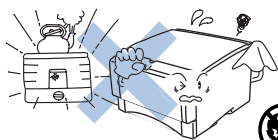
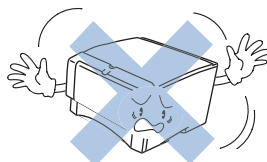
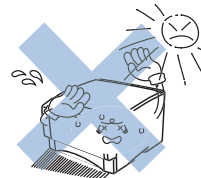
このような場所に置かないで

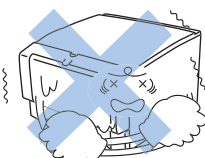
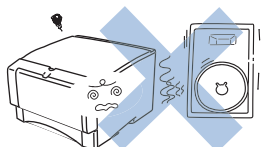
以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

警告

湿度の高い場所
ふろ場や加湿器のそばなどに置かないでください。

油飛びや湯気の当たる場所
調理台のそばなど

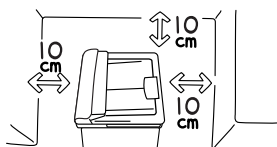
本機の上に水、薬品などを置かないでください。

注意

火気を近づけないでください。故障や火災・感電の原因となります。

不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど

温度の高い場所
直射日光の当たるところ、暖房設備のそばなど

お願い

いちじるしく低温な場所
製氷倉庫など

磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

高温、多湿、低温の場所
本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：10 〜 32.5 ℃
湿度：20 〜 80%
（結露なし）

お願い

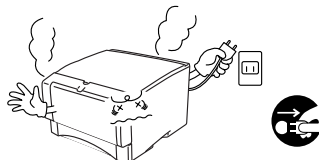
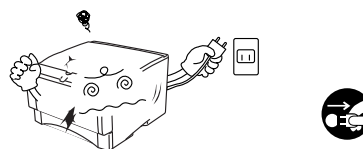
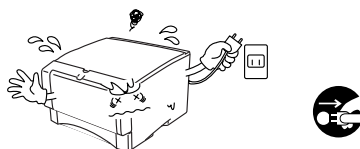
壁のそば
このプリンタを正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。

傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。

- ◎急激に温度が変化する場所
- ◎風が直接あたる場所（クーラー、換気口など）
- ◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
- ◎換気の悪い場所
- ◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- ◎じゅうたんやカーペットの上

もしもこんなときには

下記の状況でそのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

警告

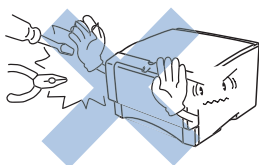
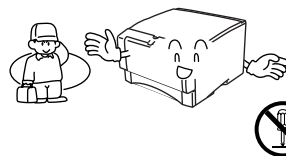
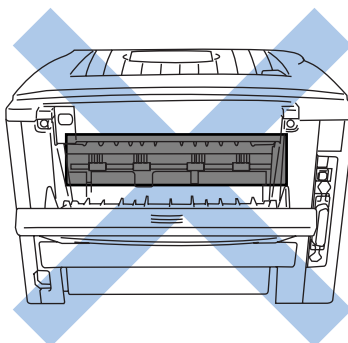
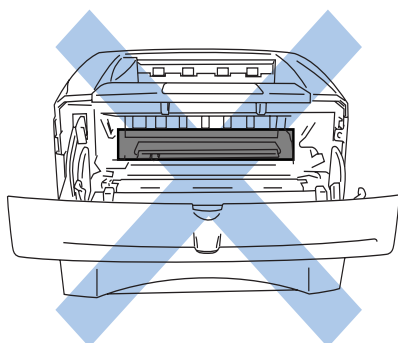
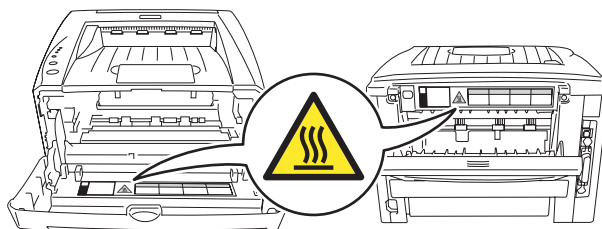
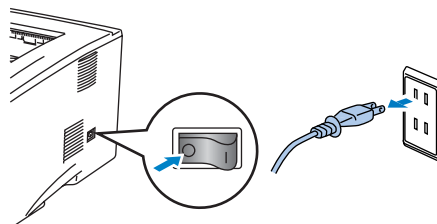
煙が出たり、異臭がしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、サービス実施店にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

本機を落としたり、破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、サービス実施店にご相談ください。

内部に水が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、サービス実施店にご相談ください。

内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、サービス実施店にご相談ください。

その他のご注意

故障や火災、感電、けがの原因となります。

警告

電源が入っているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。このプリンタはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解しないでください。
火災、感電の原因となります。

改造しないでください。
修理などはサービス実施店にご相談ください。

本機の使用直後は、本機内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

本機には下図のような警告ラベルが表示されています。各警告ラベルの内容を十分に理解し、記載事項を守って作業を行ってください。また、警告ラベルがはがれたり、傷ついたりしないように十分に注意してください。

プリンタの内部には、電圧の高い箇所があります。プリンタのクリーニングをするときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

警告

通気孔などのすきまから金属片や針金などに異物を差し込まないでください。感電する恐れがあります。

トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。トナー内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります、破損したときは、すぐに同じ電源コードを取りかえてください。

プリンタ動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

トナーカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管してください。

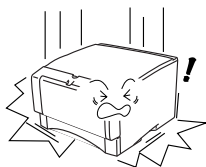
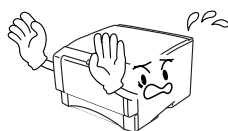
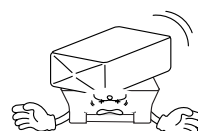
床などにこぼしたトナーは、ほうきで拭き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

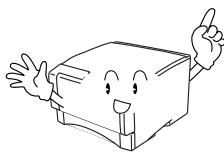
注意

- クリーニングには水か中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンなどの揮発性液体を使用すると、プリンタの表面が損傷を受けます。
- アンモニアを含有するクリーニング材料を使用しないでください。本機とトナーカートリッジが損傷を受けます。

安全
第1章
プリンタ準備
第2章
印刷
第3章
添付ソフト
第4章
オプション
第5章
メンテナンス
第6章
トラブル対応
第7章
付録
索引

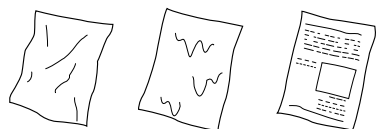
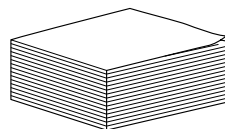
お願い

落下、衝撃を与えないでください。

動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。

本機の上に重い物を置かないでください。

室内温度を急激に変えないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。

指定以外の部品は使用しないでください。

プリンタに貼られているラベル類は、はがさないでください。

用紙について

お願い

使用する用紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙などは使用しないでください。

保管は直射日光、高温、多湿を避けてください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

商標について

• IBM, DOS/V は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
• Microsoft, Windows, Windows NT, MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
• NEC は、日本電気株式会社の登録商標です。
• PC98-NX シリーズ、PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
• Adobe, Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
• その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

OS の表記について

* Windows® 95 の製品名は、Microsoft® Windows® 95 です。
* Windows® 98 の製品名は、Microsoft® Windows® 98 です。
* Windows® Me の製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition (Windows Me) です。
* Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows® 2000 Server
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

* Windows XP の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional

* Windows® NT® 4.0 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows NT® Server 4.0
Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

ご注意

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2．本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3．リコーの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4．本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めのサービス実施店にご連絡ください。
5．プリンタの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6．運用した結果の影響については 4 項および 5 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発･普及させることを目的としています。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI規格

この装置は、情報処理設置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）に従った米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラス1レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

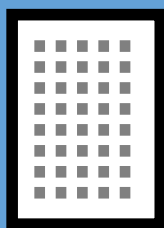
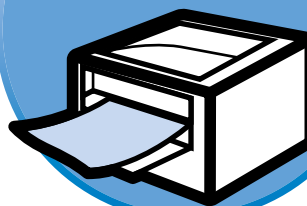
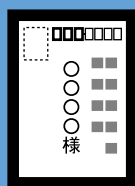
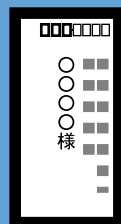
警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくやレーザー光漏れによる失明のおそれがあります。内部の点検･調整･修理は、サービス実施店にご依頼ください。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、経済産業省通知の家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

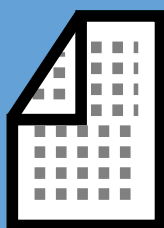
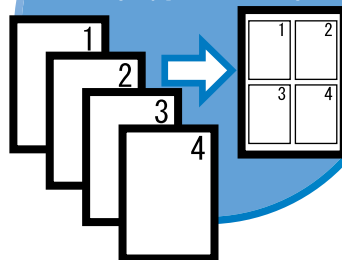
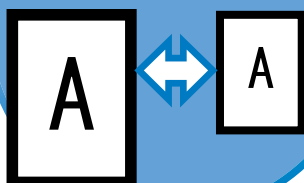
やりたいこと目次

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

目　次

本書の読み方

本書のレイアウトについて

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

安全
第1章
プリンタ準備
第2章
印刷
第3章
添付ソフト
第4章
オプション
第5章
メンテナンス
第6章
トラブル対応
第7章
付録
索引

本書で使われている記号やマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	プリンタをお使いになるにあたって、厳守していただきたいことがらを説明しています。
	プリンタをお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
	プリンタの操作手順に関する補足情報を説明しています。

マニュアルの種類のご案内

本プリンタを正しくお使いいただくため、また幅広く活用していただくため、次のマニュアルを用意しています。
プリンタをお使いになる前に必ずお読みください。

クイックセットアップガイド

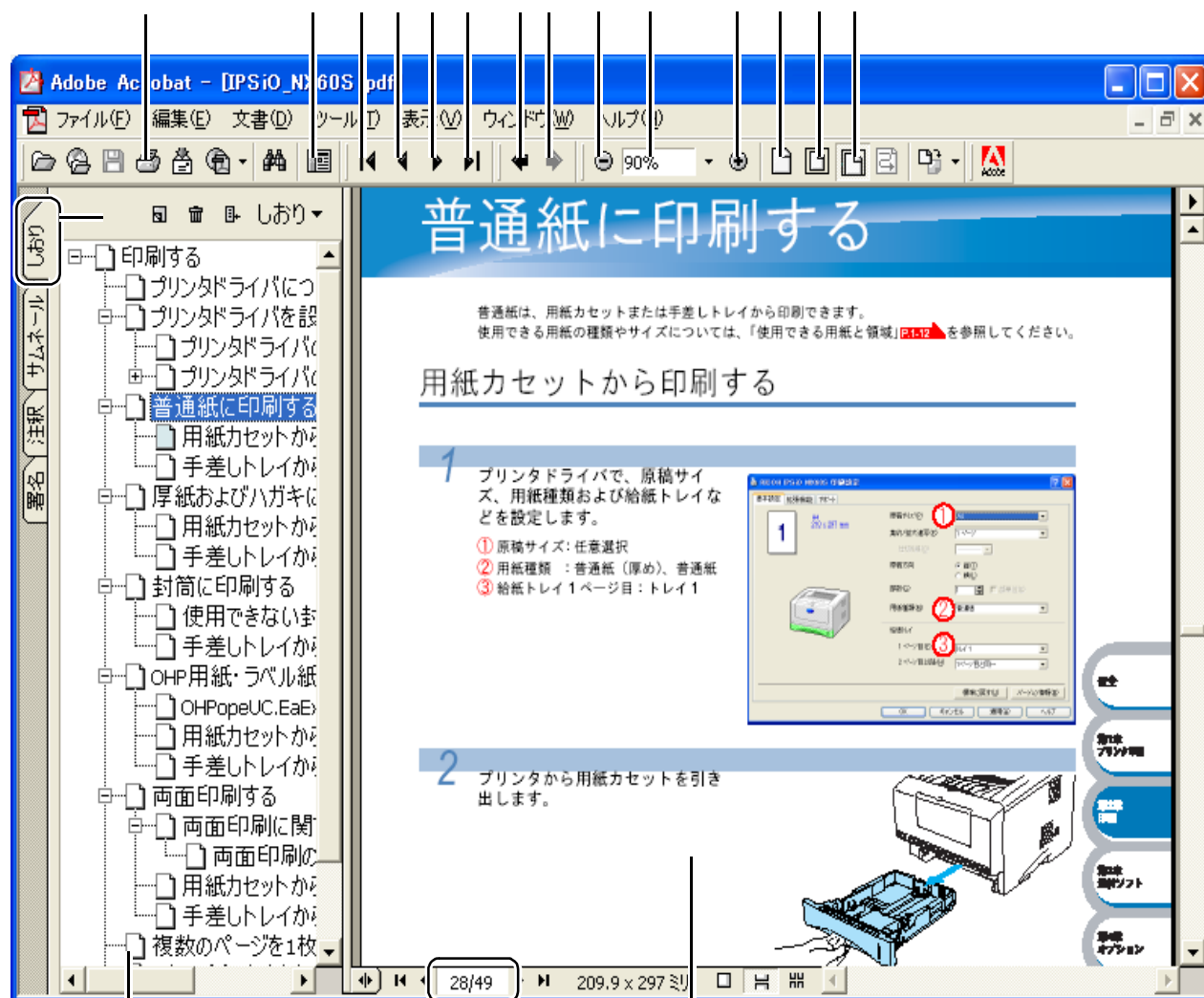
プリンタの設置、プリンタドライバやソフトウェアのインストール方法など、本体をセットアップするために必要な情報を記載しています。
本書をお読みになる前に必ずお読みください。

オンラインマニュアル（本書）

本プリンタの基本的な機能の説明、トレイや用紙ごとの印刷方法、オプションの追加やメンテナンスについて説明しています。
また、紙づまりの解決方法などのトラブルシューティングも記載していますので、トラブルの原因や対処方法を調べたいときにお読みください。

Acrobat® 簡単な機能・便利な機能

本書をお読みになるときに、知っておくと便利な Acrobat® Reader の基本機能について説明します。

Acrobat® Reader の基本機能

機能名称	説　明
① 印刷	開いている文書を印刷します。
② ナビゲーションウィンドウの表示 / 非表示	「ナビゲーションウィンドウ」の表示 / 非表示を切り替えます。
③ 最初のページ	開いている文書の最初のページを表示します。
④ 前ページ	前ページを表示します。
⑤ 次ページ	次ページを表示します。
⑥ 最後のページ	開いている文書の最後のページを表示します。
⑦ 前の画面	ページを移動したり、表示倍率を切り替えたときなど、それまで見てきた文書表示を 1 操作単位で逆に戻ります。
⑧ 次の画面	「⑦前の画面」で戻った文書の画面を 1 操作単位で次に進んで表示します。
⑨ ズームアウト	クリックするごとに、文書を縮小表示します。
⑩ 倍率ボックス	任意の倍率を数値入力して、文書を拡大 / 縮小表示します。▼をクリックして表示されたメニューから選択して、拡大 / 縮小表示することもできます。
⑪ ズームイン	クリックするごとに、文書を拡大表示します。
⑫ 実際の大きさ	文書の実際の大きさで表示します。
⑬ 全体表示	ページ全体を表示できる大きさで、画面に表示します。
⑭ 幅に合わせる	画面幅いっぱいに文書の横幅を合わせて表示します。
⑮ しおり	「ナビゲーションウィンドウ」を表示している場合、［しおり］タブでしおりを表示できます。階層表示されている見出しをクリックすると、該当ページに移動します。
⑯ ページ番号ボックス	“ 現在のページ / 総ページ ” の形式で、現在何ページ目を表示しているかを示しています。表示したいページ番号を数値入力して、表示することもできます。

Acrobat® Reader 5.0 または Acrobat® 5.0 をお使いの方は、画面上の PDF の線をなめらかにして見ることができます。下記の手順で操作してください。

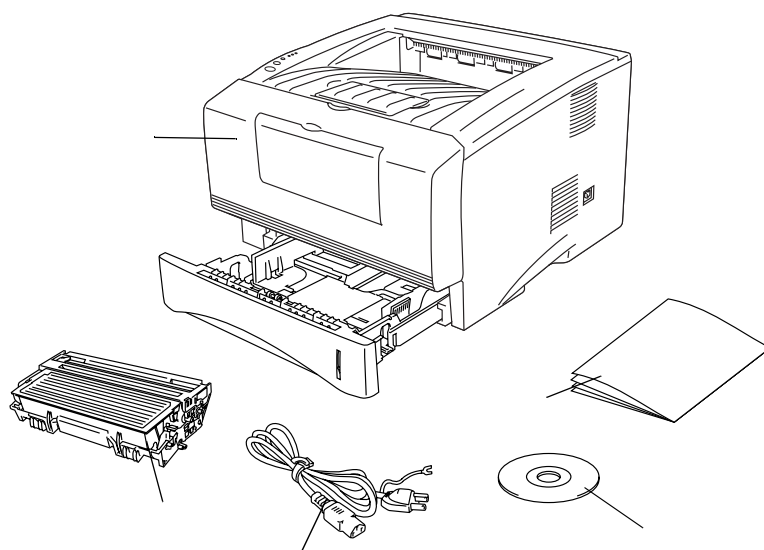
① PDF を開きます。
② ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］を選択します。
（Acrobat 5.0 の場合は、ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］－［一般］を選択します。）
③ 画面右側の項目から［表示］を選択します。
④［スムージング］の「ラインアートのスムージング」チェックボックスをチェックします。
⑤［OK］をクリックします。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

第 1 章 プリンタをお使いになる前に

梱包内容の確認

同梱物

プリンタを箱から取り出したら、最初に以下の同梱物があることを確認してください。

① プリンタ本体
② 感光体ユニット（トナー含む）
③ 電源コード
④ CD-ROM
⑤ 印刷物（クイックセットアップガイド他）
⑥ リコー製品サービス相談窓口一覧
⑦ マイバンク＆ QA 登録票
⑧ お客様登録はがき、（仮）保証書
⑨ IPSiO コールセンターシール

インターフェースケーブル

インターフェースケーブルは標準添付品ではありません。
コンピュータによっては USB ポートとパラレルポートの両方を備えているものがあります。ご使用になるインターフェースに適したケーブルをお近くの販売店でご購入ください。

◆パラレルケーブル

・プリンタの機能を最大限に引き出すため、IEEE1284 のパラレルケーブルをお使いいただくことをお勧めします。

< 推奨ケーブル >

- LP インターフェースケーブル タイプ 4S （商品コード：307470）
  IBM PS/V シリーズ、各社 DOS/V 機、PC98-NX シリーズ 双方向通信対応 1.5m
- LP インターフェースケーブル タイプ 4B （商品コード：307274）
  IBM PS/V シリーズ、各社 DOS/V 機、PC98-NX シリーズ 双方向通信対応 2.5m
- LP インターフェースケーブル タイプ 1B （商品コード：307273）
  NEC PC-9800 シリーズ　双方向通信対応 2.5m

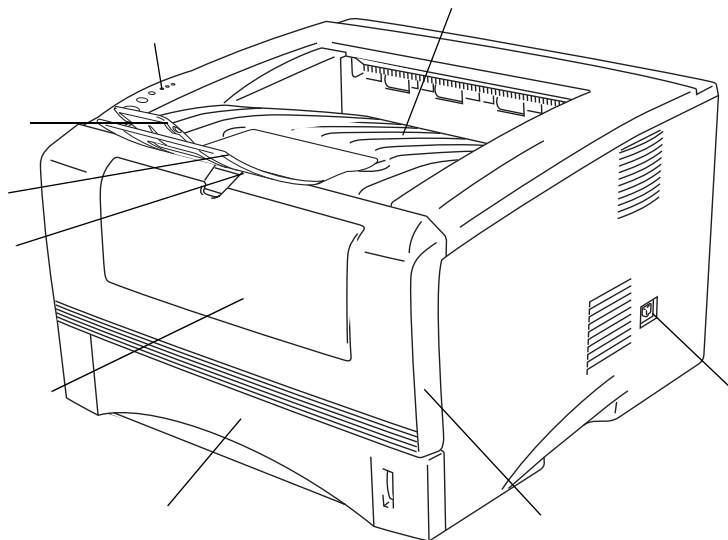
◆ USB ケーブル

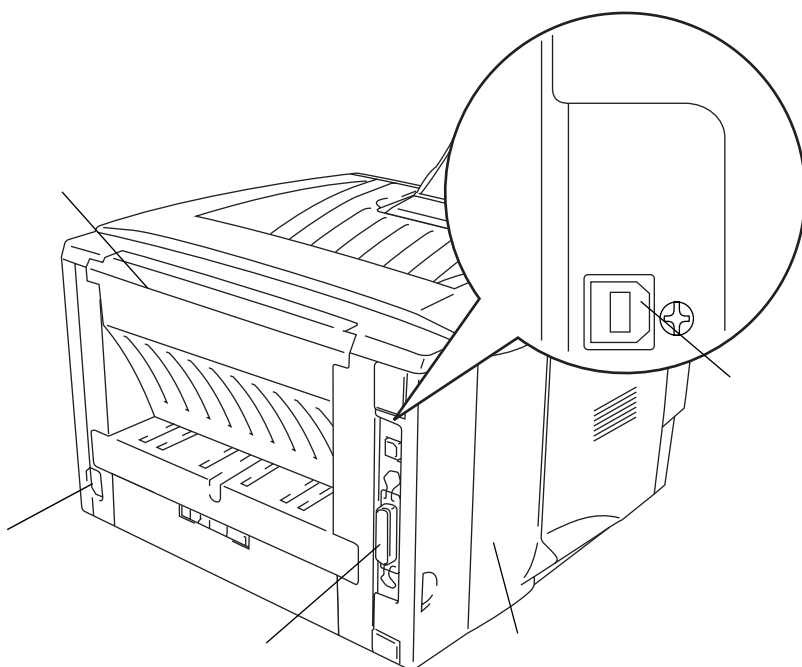
・ご使用のコンピュータの USB ポートに接続してください。

< 推奨ケーブル >

- USB2.0 プリンタケーブル（商品コード：509600）
  USB プリンタケーブル 2.5 m

本体各部の名称

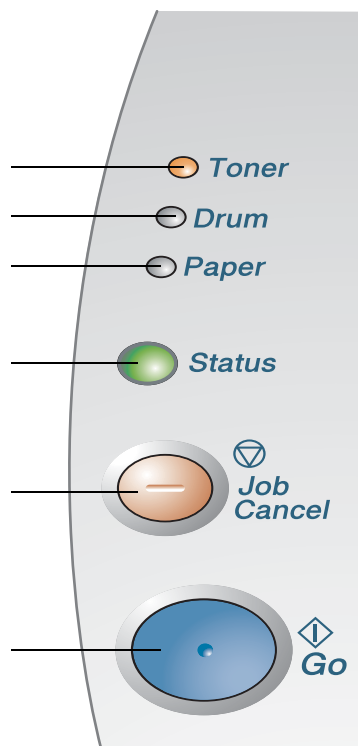
前面

① コントロールパネル
② 補助用紙ストッパー
③ 用紙ストッパー
④ フロントカバーボタン
⑤ 手差しトレイ
⑥ 用紙カセット
⑦ フロントカバー
⑧ 電源スイッチ
（Ⅰ が ON、O が OFF です。）
⑨ 上面排紙トレイ

背面

① 背面排紙トレイ
② 電源コード差し込み口
③ パラレルポート
④ サイドカバー
⑤ USB ポート

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

コントロールパネルの見方

コントロールパネル上のランプとボタンについて説明します。

コントロールパネルの名称と機能

① Toner（トナー）
トナーの残量が少なくなったことやなくなったことを示すランプです。

② Drum（ドラム）
感光体ユニットの寿命が少なくなったことを示すランプです。

③ Paper（用紙）
カセットやトレイに用紙がなくなったこと、紙づまりや給紙ミスが起こったことを示すランプです。

④ Status（ステータス）
プリンタの状態を示すランプです。

⑤ Job Cancel（ジョブキャンセル）
印刷をキャンセルにするときに使用するボタンです。

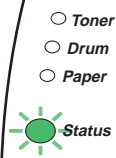
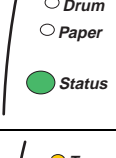
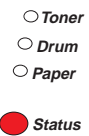
⑥ Go（エラー解除・用紙排出・節電復帰）
解除可能なエラーを解除するとき、またスリープ状態から復帰するときなどに押すボタンです。

ランプによるプリンタの状態表示

コントロールパネル上の 4 つのランプは、点灯・点滅・消灯の組み合わせによって、プリンタの状態を示します。
各ランプの状態は、下記のように表現します。

	ランプ点灯
	淡く点灯
	ランプ点滅
	ランプ消灯

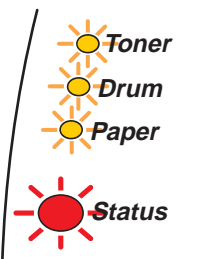
プリンタがスリープ状態になっているときには、Status ランプが淡く点灯します。また電源スイッチがオフになっているときは、すべてのランプが消灯します。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

	プリンタの状態
Toner / Drum / Paper / Status	**スリープ状態** プリンタはスリープ状態になっています。スリープ状態から復帰するときは、Go を押してください。 スリープ状態でコンピュータからデータを受信すると、プリンタは自動的に復帰し、印刷を開始します。
Toner / Drum / Paper / Status	**ウォーミングアップ状態** ウォーミングアップ中です。
Toner / Drum / Paper / Status	**印刷可能状態** 印刷できる状態です。
Toner / Drum / Paper / Status	**データ受信中** コンピュータからデータを受信中、データを処理中、またはデータを印刷中です。
Toner / Drum / Paper / Status	**プリンタメモリに印刷データあり** メモリに印刷データが残っています。この状態が長く続き、印刷されない場合は、Go を押すと、メモリに残っているデータを印刷します。
Toner / Drum / Paper / Status	**トナー少量** トナーの残量が残りわずかです。新しいトナーを購入し、トナー切れが表示されたときのために準備してください。 Toner ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返します。
Toner / Drum / Paper / Status	**トナー切れ** 「トナーを交換する」P.5-5 に従ってトナーを新しいものに交換してください。
Toner / Drum / Paper / Status	**感光体ユニット寿命** 感光体ユニットの寿命が少なくなっています。新しい感光体ユニットを購入し、現在のものと交換することをお勧めします。「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。 Drum ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返します。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

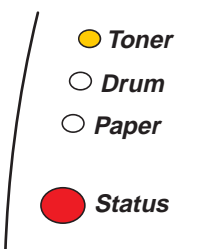
	プリンタの状態
Toner Drum Paper Status	**紙づまり** 「紙づまりが起きたときは」P.6-8 を参照して、つまった用紙を取り除きます。プリンタが自動的に回復しない場合は、Go を押してください。
	紙切れ 「第 2 章　印刷する」P.2-1 に従ってプリンタに用紙を補給してください。
	給紙ミス 用紙を入れ直して、Go を押してください。
Toner Drum Paper Status	**フロントカバーオープン** フロントカバーを閉じてください。
	ジャムクリアカバーオープン ジャムクリアカバーを閉じてください。 「紙づまりが起きたときは」P.6-8 の手順 6 を参照してください。
	メモリフル Go を押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。
	プリントオーバーラン Go を押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 プリンタドライバのページプロテクトを ON にしてください。「ページプロテクト」P.2-23 を参照してください。

サービスコール

解除不可能なエラーが発生した場合には、下記の例のようにすべてのランプが点滅して、サービスコールが必要なことを示します。

このようなサービスコールの表示が発生した場合は、次の手順に従ってください。

1 電源スイッチを切って、数秒後にもう一度電源を入れて、印刷してみてください。

それでもエラーが解除できず、電源を入れた後も同じように表示される場合は、お近くのサービス実施店にご相談ください。

Go と Job Cancel を同時に押すと、下の表の組み合わせのいずれかで、ランプが点灯します。例えば、下の図は「定着器の故障エラー」を表示しています。

Go と Job Cancel を同時に押したときのランプ表示

ランプ	定着器故障	レーザーユニット故障	メインモーター故障	メイン基板故障	エンジン基板故障
トナー	黄	白	白	黄	白
ドラム	白	黄	白	白	黄
用紙	白	白	黄	白	白
ステータス	赤	赤	赤	黄	黄

ご相談される前に、プリンタのフロントカバーが完全に閉じていることを確認してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

ボタン

コントロールパネルのボタンは、次のような用途に使用します。

印刷の中止

印刷中に Job Cancel を押すと、プリンタはすぐに印刷を中止して用紙を排出します。

スリープ状態からの復帰

スリープ状態に入っているときに Go または Job Cancel を押すと、プリンタはスリープ状態から復帰して、印刷できる状態になります。

用紙排出

Status ランプがオレンジ色点灯中に Go を押すと、プリンタメモリに残っているデータを印刷します。

エラー状態からの復帰

プリンタが自動的にエラーから回復しないときは、Go を押してください。解除可能なエラーを解除します。

再印刷

印刷した直前の文書を再度印刷したいときは、Go を押したままにし、4 つすべてのランプが点灯したら Go を離します。プリンタの電源を入れ直したり、コンピュータを再起動すると、直前のデータは削除され、再印刷はできません。

この機能を有効にするには、ドライバのプロパティで設定を変更する必要があります。
詳しくは 2-18 ページの「印刷ジョブのスプール」を参照してください。

テストページの印刷

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

3 **Go を押したままの状態で、電源スイッチをオンにします。**

すべてのランプが点灯し、再度消灯します。このとき、Go は押したままの状態です。

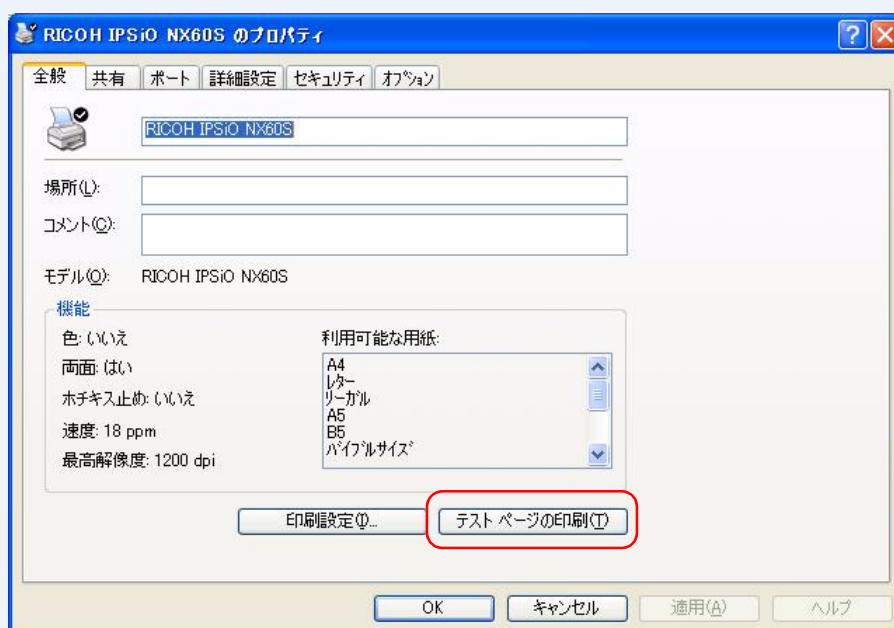
4 **Toner ランプのみが点灯したら、Go から指を離します。**

5 **もう一度、Go を短く押します。**

プリンタからテストページが印刷されます。

メモ

プリンタドライバからの印刷方法

Windows® 用プリンタドライバを使用している場合は、「RICOH IPSiO NX60S のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある テスト ページの印刷(T) ボタンをクリックします。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

プリンタ設定ページの印刷

1 プリンタの電源を切ります。

2 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

3 電源スイッチをオンにし、印刷可能状態になるまで待ちます。

4 Go を 3 回押します。（2 秒以内）

プリンタからプリンタ設定ページが印刷されます。

使用できる用紙と領域

推奨紙

用紙種類	用紙名
普通紙	リコー マイペーパー
再生紙	リコー マイリサイクルペーパー 100
OHP	住友 3M CG3300
ラベル	エーワンレーザーラベル 28362

印刷用紙と寸法

プリンタは本体の用紙カセット、手差しトレイまたはオプションの増設トレイユニットから用紙を給紙します。
プリンタドライバ上では、下記の名称で表示しています。

本体の名称	プリンタドライバ上での名称
用紙カセット	トレイ 1
手差しトレイ	手差し
増設トレイユニット	トレイ 2

下表のマークをクリックすると、それぞれの用紙のセット方法が参照できます。

用紙の種類	トレイ 1	手差しトレイ	トレイ 2	プリンタドライバで用紙種類を選択
普通紙 $64g/m^2$ ～ $105g/m^2$	P.2-29	P.2-32	P.4-3	普通紙（厚め） 普通紙
再生紙	P.2-29	P.2-32	P.4-3	普通紙
ボンド紙		P.2-32		ボンド紙
厚紙 $105g/m^2$ ～ $161g/m^2$		P.2-34		厚紙（ハガキ） 超厚紙
ハガキ	P.2-34 最大 30 枚	P.2-37		厚紙（ハガキ） 超厚紙
OHP 用紙 (A4、レター紙のみ)	P.2-45 最大 10 枚	P.2-47		OHP
ラベル紙 (A4、レター紙のみ)		P.2-47		超厚紙
封筒		P.2-41		封筒 封筒（厚め） 封筒（薄め）

各トレイで使用できる原稿サイズと枚数は、次のようになります。

トレイ	トレイ 1	手差しトレイ	トレイ 2
原稿サイズ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、A6、ハガキ	ユーザ定義サイズ（幅 69.9 〜 215.9mm ×長さ 116.0 〜 355.6mm）、A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、A6、ハガキ、封筒（洋形 4 号）	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5
枚数（容量）	250 枚	1 枚	250 枚

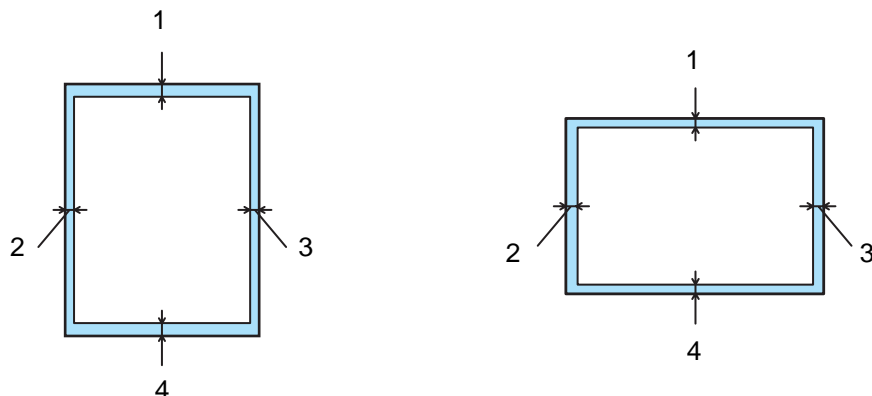
たくさんの用紙を購入する場合は、必ず小部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから、購入してください。
用紙を購入するときは、次の点に注意してください。

・ 普通紙コピー用の用紙をご使用ください。
・ 用紙は中性紙を使用し、酸性やアルカリ性紙は使用しないでください。
・ 用紙は縦目でご使用ください。
・ 用紙の水分は約 5% のものをご使用ください。

インクジェット紙を使用しないでください。紙づまりを起こし、プリンタに損傷を与えるおそれがあります。
台紙が付いていないラベル紙は使用しないでください。プリンタに損傷を与えるおそれがあります。

本プリンタで使用できる用紙については、「用紙仕様」P.7-3の「対応用紙」を参照してください。

印刷可能領域

各原稿サイズに対する印刷できない範囲（縁）を下図に示します。
原稿サイズから縁寸法を引いた部分が、印刷可能領域になります。

	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、A6、ハガキ
1	4.2 mm
2	4.2 mm
3	4.2 mm
4	4.2 mm

第 2 章 印刷する

プリンタドライバについて

プリンタドライバとは、アプリケーションソフトから印刷を実行するときに、プリンタの各機能や動作を設定するためのソフトウェアです。

最新のプリンタドライバのダウンロードや Q&A**、その他の有益な情報をインターネットのリコーホームページ（**http://www.ricoh.co.jp**）から入手することができます。**

表示される画面は、ご使用のオペレーティングシステム（OS**）によって異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。**
また、下記に示す OS **のプリンタドライバは、**CD-ROM **メニュー上の「ソフトウェアのインストール」からインストールすることができます。**

・ Microsoft Windows 95 **日本語版**
・ Microsoft Windows 98，98SE **日本語版**
・ Microsoft Windows Me **日本語版**
・ Microsoft Windows XP Professional
・ Microsoft Windows XP Home Edition
・ Microsoft Windows 2000 Server **日本語版**
・ Microsoft Windows 2000 Advanced Server **日本語版**
・ Microsoft Windows 2000 Professional **日本語版**
・ Microsoft Windows XP Home Edition **日本語版**
・ Microsoft Windows XP Professional **日本語版**
・ Microsoft Windows NT Server 4.0 **日本語版**
・ Microsoft Windows NT Workstation 4.0 **日本語版**

プリンタドライバを設定する

コンピュータのデータをプリンタから印刷するときは、プリンタドライバで各種の設定ができます。

・このセクションの画面は、Windows® XP の画面です。お使いのコンピュータ画面は、OS によって異なります。
・最新のプリンタドライバやその他の情報は、http://www.ricoh.co.jp から入手できます。

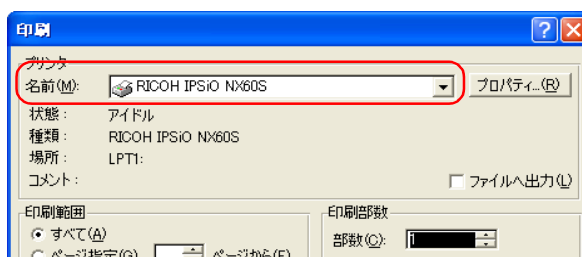
プリンタドライバの設定方法

プリンタドライバの設定方法について説明します。
次の手順でプリンタドライバの設定画面を表示し、設定または変更した後は、[適用(A)]または[OK]をクリックして、その設定を有効にしてください。

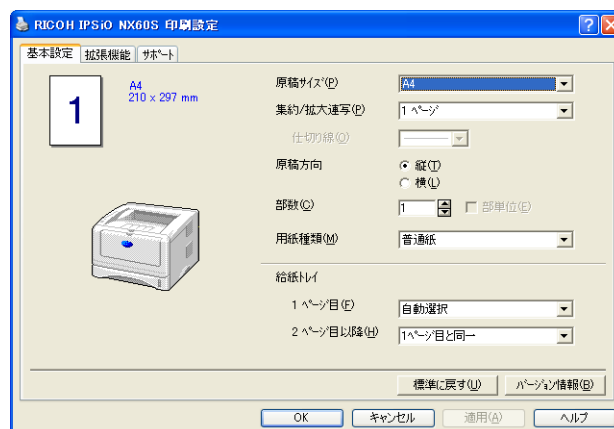
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

2 ［印刷］ダイアログボックスのプリンタ名から「RICOH IPSiO NX60S」を選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。

プリンタドライバの設定画面「RICOH IPSiO NX60S」ダイアログボックスが表示されます。

メモ

プリンタドライバの設定画面は［スタート］メニューから表示することもできます。
① Windows® XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows® 95/98/Me/2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
②「RICOH IPSiO NX60S」のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
③ Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 の場合は、「RICOH IPSiO NX60S のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある[印刷設定(I)...]ボタンをクリックします。「RICOH IPSiO NX60S 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。
Windows® 95/98/Me の場合は、「RICOH IPSiO NX60S のプロパティ」に各項目が表示されます。

3 各項目を設定します。

設定内容の詳細は「プリンタドライバの設定内容」P.2-5を参照してください。

4 [適用(A)]または[OK]をクリックします。

各タブで変更した設定が確定されます。[OK]をクリックした場合は、[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

メモ

- [適用(A)]をクリックしなくても、[OK]をクリックすると、各タブで変更した設定が確定されます。
- [キャンセル]をクリックすると、各タブで変更した設定がキャンセルされ[印刷]ダイアログボックスに戻ります。
- お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順 3 で[標準に戻す(U)]をクリックしてから[適用(A)]または[OK]をクリックします。

プリンタドライバの設定内容

プリンタドライバで設定・変更できる項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、お使いの OS によっては利用できない項目があります。
また、お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、アプリケーションソフト側の設定が優先されます。

[基本設定] タブでの設定項目

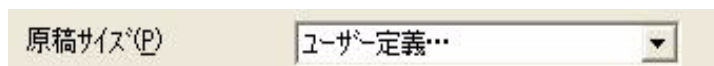
次の項目を設定できます。
（下記の マークをクリックすると、各項目の詳細を説明しているページが表示されます。）

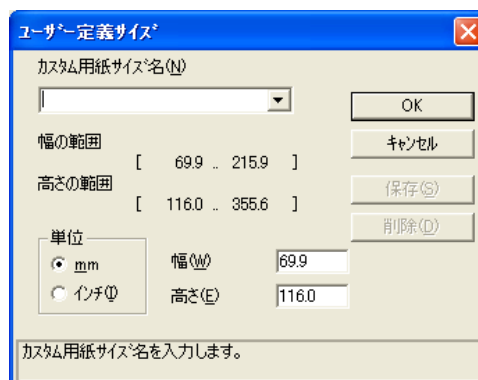
① 原稿サイズ P.2-6
② 集約 / 拡大連写 P.2-6
③ 原稿方向 P.2-7
④ 部数 P.2-7
⑤ 用紙種類 P.2-7
⑥ 給紙トレイ P.2-8

[適用(A)] または [OK] をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは [標準に戻す(U)] をクリックします。

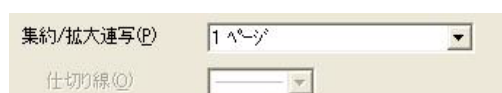
原稿サイズ、集約 / 拡大連写の設定項目は、プリンタドライバの設定画面左側のイラストに現在の設定が表示されます。また、集約 / 拡大連写と給紙トレイの設定は、イラストをクリックして変更することもできます。

① 原稿サイズ

原稿サイズの選択では、さまざまな標準原稿サイズから選ぶことができます。必要に応じて、横 69.9 〜 215.9mm ×縦 116.0 〜 355.6mm の間で、任意のサイズを作成することもできます。プルダウンメニューから、使用する原稿サイズを選択してください。

ユーザー定義サイズを選択して、任意のサイズを入力することもできます。適正な印刷品質を得るためには、適切な厚さの用紙を使ってください。

メモ

- アプリケーションソフトによっては、原稿サイズの設定が無効になる場合があります。ご使用のアプリケーションソフトに、適切な原稿サイズが設定されていることを確認してください。
- 最小の原稿サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

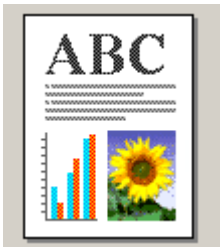
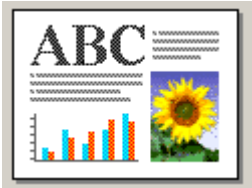
② 集約 / 拡大連写

集約 / 拡大連写の選択によって、1 ページの画像サイズを縮小して、複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、画像サイズを拡大して 1 ページを複数の用紙に印刷することができます。

集約 / 拡大連写を使用したときの例

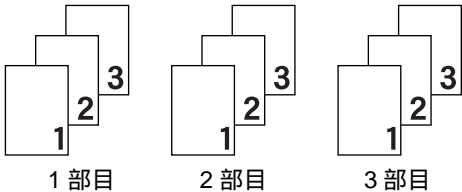
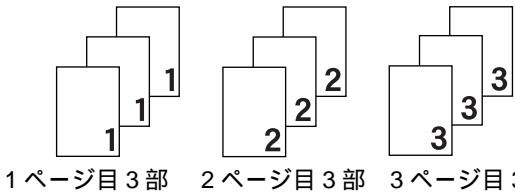
2 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合	4 ページ分を 1 枚の用紙で印刷する場合
「2 ページ」を選択	「4 ページ」を選択

仕切り線

集約 / 拡大連写機能を使って、複数のページを 1 枚の用紙に印刷するときは、各ページの境界に実線または点線の境界線を入れることができます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

③ 原稿方向

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

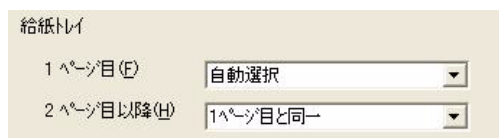
印刷の向き　◉ 縦(T)　○ 横(L)

④ 部数

部数では、印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。

部数(C)　3　☑ 部単位(E)

部単位

「部単位」チェックボックスをチェックすると、文書一式が 1 部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。「部単位」チェックボックスをチェックしていないときは、各ページが選択された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。
例えば、3 ページの文書を 3 部印刷したときは次のようになります。

アプリケーションソフトによっては部単位の設定が無効となる場合があります。その場合は、ご使用のアプリケーションソフトで部単位を設定してください。

⑤ 用紙種類

次の種類の用紙が使えます。最良の印刷品質を得るために、ご使用の用紙に応じて用紙種類を設定してください。

「普通紙」：	市販されている普通紙やコピー用紙を使う場合
「普通紙（厚め）」：	市販されている厚めの普通紙やコピー用紙を使う場合
「厚紙（ハガキ）」：	ラベル、ハガキなどの厚めの用紙を使う場合
「超厚紙」：	「厚紙」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「ボンド紙」：	ボンド紙を使う場合
「OHP」：	OHP シートを使う場合
「封筒」：	封筒を使う場合
「封筒（厚め）」：	「封筒」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒（薄め）」：	「封筒」を選択して印刷したときに印刷された封筒がしわになる場合

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

⑥ 給紙トレイ

給紙するトレイを選択します。

給紙トレイ
1 ページ目(F) 自動選択
2 ページ目以降(H) 1ページ目と同一

「自動選択」： プリンタが自動的にトレイを選択します。

「トレイ 1」： 用紙カセットから普通紙を印刷する場合に選択します。「用紙カセットから印刷する」P.2-29を参照してください。

「トレイ 2」： オプションの増設トレイユニットを使用するときに選択します。

「手差し」： 一度に 1 枚しか送れません。最初のページが印刷されると、用紙を挿入するようプリンタのコントロールパネル上の Paper ランプが点滅し、Status ランプが点灯します。手差しトレイから封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。「手差しトレイから印刷する」P.2-32を参照してください。

また、1 ページ目と 2 ページ目以降で給紙トレイを切り替えることができます。

「1 ページ目」： 1 ページ目を印刷するときの給紙トレイを設定します。

「2 ページ目以降」： 2 ページ目以降を印刷するときの給紙トレイを設定します。

[拡張機能] タブでの設定項目

アイコンをクリックして、次の項目を設定・変更することができます。

① グラフィックス P.2-10
② 両面印刷 P.2-11
③ スタンプ印字 P.2-12
④ ページ設定 P.2-16
⑤ その他特殊機能 P.2-17

[適用(A)] または [OK] をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは [標準に戻す(U)] をクリックします。

プリンタドライバの設定画面左側のイラストに現在の設定が表示されます。

グラフィックス

解像度、トナー節約モード、印刷設定などが設定できます。

① 解像度

解像度の次の 3 種類から選択します。

「HQ1200」： 最高の品質で印刷します。プリンタドライバは 1200 × 1200 ドットの印刷データをプリンタに送信し、インチあたり 2400 × 600 ドットで印刷します。

「600 dpi」： インチあたり 600 ドットの解像度で印刷します。

「300 dpi」： インチあたり 300 ドットの解像度で印刷します。

" メモリフル " が発生するとエラーシートが印刷されます。その場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げて、もう一度印刷してください。
本機は、メモリの増設をすることはできません。

② トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約してランニングコストを節減することができます。

③ 印刷設定

輝度、コントラストなどの設定を手動で設定できます。

・ Windows® 95/98/Me の場合
「自動設定」：本プリンタの設定のまま印刷されます。
「手動設定」：輝度、コントラストなどの設定を手動で行います。

・ Windows NT®4.0、Windows® 2000/XP の場合
「プリンタのハーフトーンを使う」：本プリンタの設定のまま印刷されます。
「システムのハーフトーンを使う」：輝度、コントラストなどの設定を手動で行います。

階調印刷を改善する（Windows NT®4.0、Windows® 2000/XP ユーザー専用）

「階調印刷を改善する」チェックボックスをチェックすると、陰影部の画質を改善できます。階調部分が上手く印刷されない場合には、このチェックボックスにチェックしてください。

両面印刷

手動両面印刷の設定ができ、6 種類の綴じ方や綴じしろの設定ができます。
印刷の詳細は「両面印刷する」P.2-50を参照してください。

① **手動両面印刷**

はじめに偶数ページ（裏面）をすべて印刷します。プリンタがいったん停止して、偶数ページ（裏面）が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示に従って用紙を再セットし、OK をクリックすると、奇数ページ（表面）の印刷を開始します。

② **綴じ方**

原稿方向、縦または横など 6 種類の綴じ方があります。

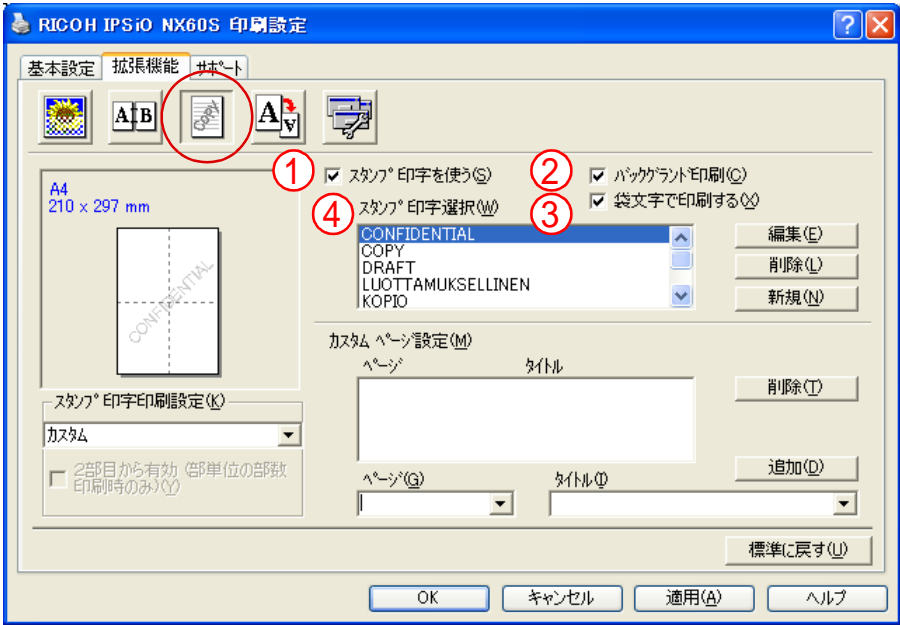
③ **綴じしろ**

「綴じしろ」を選択すると、綴じしろの量をインチまたはミリメートルで設定できます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

スタンプ印字

ロゴやテキストをスタンプ印字（すかし）として文書に入れることができます。あらかじめいくつかスタンプ印字が登録されていますが、ビットマップファイルまたはテキストファイルを作成して使うことができます。

印刷の詳細は「スタンプ印字（すかし）を入れて印刷する」P.2-57を参照してください。

① スタンプ印字を使う

「スタンプ印字を使う」チェックボックスをチェックすると、「スタンプ印字選択」から選択したスタンプ印字を文書に入れて印刷できるようになります。また、選択したスタンプ印字は編集することもできます。「スタンプ印字設定」P.2-14を参照してください。

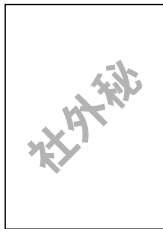
② バックグラウンド印刷

「バックグラウンド印刷」チェックボックスをチェックすると、文書の背景にスタンプ印字が印刷されます。これをチェックしていないときは、文書の一番上にスタンプ印字が印刷されます。

「バックグラウンド印刷」をチェックした場合	「バックグラウンド印刷」をチェックしていない場合
あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ 社外秘	あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ 社外秘

③ 袋文字で印刷する........................... P.2-13

④ スタンプ印字選択........................... P.2-13

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

③ 袋文字で印刷する（WindowsNT®4.0、Windows® 2000/XP のみ）

スタンプ印字の輪郭を印刷したいときのみ、「袋文字で印刷する」チェックボックスをチェックします。

④ スタンプ印字選択

「スタンプ印字印刷設定」には、次の選択項目があります。

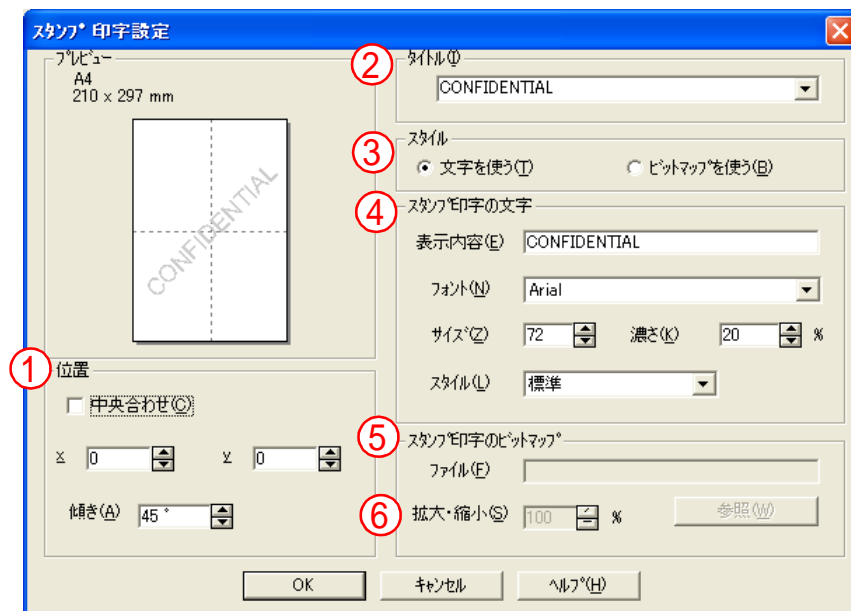
「全ページ」：	**全ページにスタンプ印字が印刷されます。**
「開始ページのみ」：	**2 ページ以上の印刷の場合、最初のページにだけスタンプ印字が印刷されます。**
「2 ページ目から」：	**2 ページ以上の印刷の場合、2 ページ目以降にスタンプ印字が印刷されます。**
「カスタム」：	**2 ページ以上の印刷の場合は、各ページに対し別々のスタンプ印字設定ができます。 「カスタムページ設定」P.2-15を参照してください。**

2 部目から有効（部単位の部数印刷時のみ）

2 部以上印刷する場合に、1 部目にはスタンプ印字を入れず、2 部目からスタンプ印字を入れるときに、「2 部目から有効（部単位の部数印刷時のみ）」チェックボックスをチェックします。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

スタンプ印字設定

スタンプ印字を選択し、[編集(E)]をクリックすると、スタンプ印字のサイズとページ上の位置を変更することができます。新しいスタンプ印字を追加したい場合は、[新規(N)]をクリックし、［スタイル］の［文字を使う］または［ビットマップを使う］を選択します。

① **位置**

ページ上のスタンプ印字を配置する位置や角度を設定します。

② **タイトル**

設定したスタンプ印字の名前を設定します。ここで設定した名前は、「スタンプ印字選択」に表示されます。

③ **スタイル**

新しく追加するスタンプ印字が、文字かビットマップかを選択します。

④ **スタンプ印字文字**

スタンプ印字の文字を「表示内容」に入力して、「フォント」、「サイズ」、「スタイル」、「濃さ」を選択します。

⑤ **スタンプ印字ビットマップ**

「ファイル」ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、［参照］ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥ **拡大・縮小**

イメージのサイズを設定します。

カスタムページ設定

各ページに対して別々のスタンプ印字の設定ができます。「スタンプ印字印刷設定」で「カスタム」を選択したときのみ有効になります。

・**設定テーブル**

各ページに対して設定されている内容が表示されます。

設定の追加

①「ページ」から設定したいページを入力します。
ページ設定として番号以外にその他のページが選択できます。

②「タイトル」から使用したいスタンプ印字を選択します。
選択したページにスタンプ印字を付けたくない場合は、なしを選択します。

③ 追加(D) をクリックします。
設定テーブルに追加されます。

設定の削除

① 設定テーブルから削除したいページの設定を選択します。

② 削除(T) をクリックします。
設定テーブルから削除されます。

印刷の詳細は「スタンプ印字（すかし）を入れて印刷する」P.2-57を参照してください。

ページ設定

アプリケーションソフトで作成した文書や画像のデータを変更せずに、ページイメージをそのまま拡大縮小して原稿サイズを変更して印刷できます。またページイメージをそのまま左右反転、上下反転して印刷することもできます。

［適用(A)］または［OK］をクリックして、選択した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

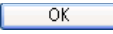
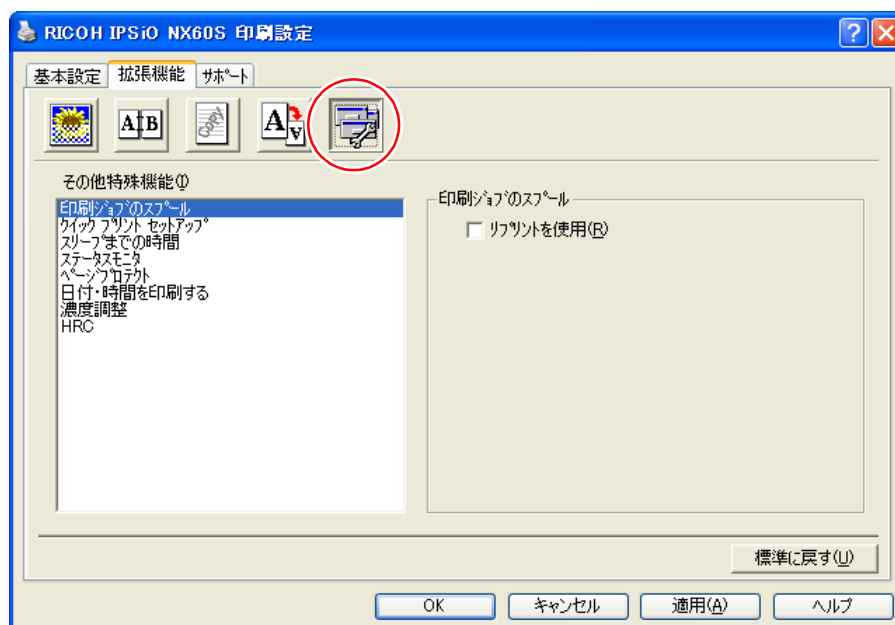
① 拡大縮小

「オフ」：	画面に表示されたとおりに文書を印刷します。
「印刷用紙サイズに合わせます」：	文書が非定形サイズの場合や標準サイズの用紙しかない場合は、「印刷用紙サイズに合わせます」を選択し、「印刷用紙サイズ」で選択した用紙サイズに拡大縮小して印刷します。
「任意倍率」：	「任意倍率［25 － 400%]」で設定した倍率で印刷します。

② 左右反転

左右を逆にして印刷します。

③ 上下反転

上下を逆にして印刷します。

その他特殊機能

次のプリント機能モードを設定できます。
（下記の マークをクリックすると、各機能の詳細を説明しているページが表示されます。）

[適用(A)]または[OK]をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは[標準に戻す(U)]をクリックします。

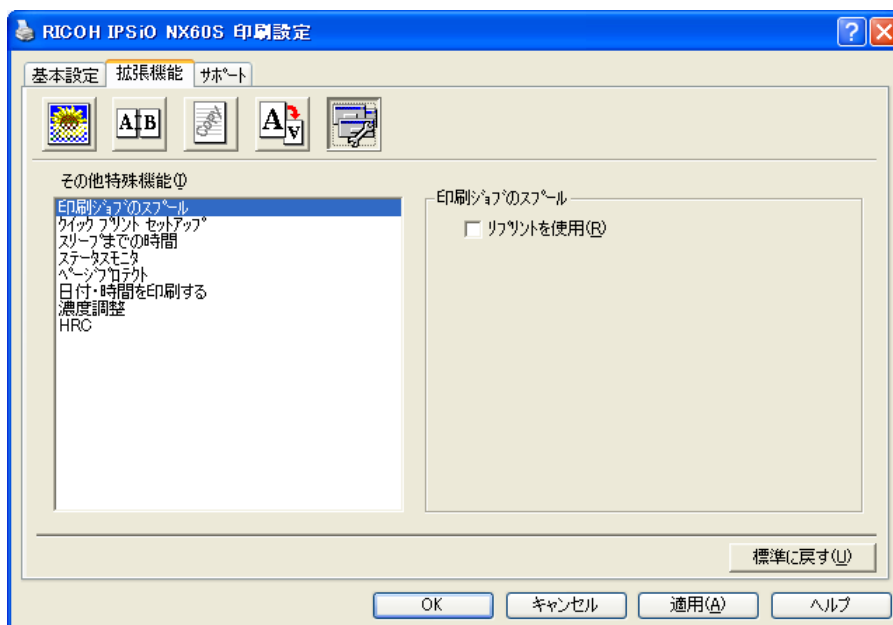
プリンタ機能はモデルによって異なる場合があります。
※ 1**設定保護管理機能は** Windows® 95/98/Me **ユーザー専用です。**
※ 2Windows® 95/98/Me **の場合は、［拡張機能］タブの［グラフィックス］で［印刷設定］の［手動設定］をクリックして表示される画面で、**HRC **の設定と** TrueType **設定を変更できます。**

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

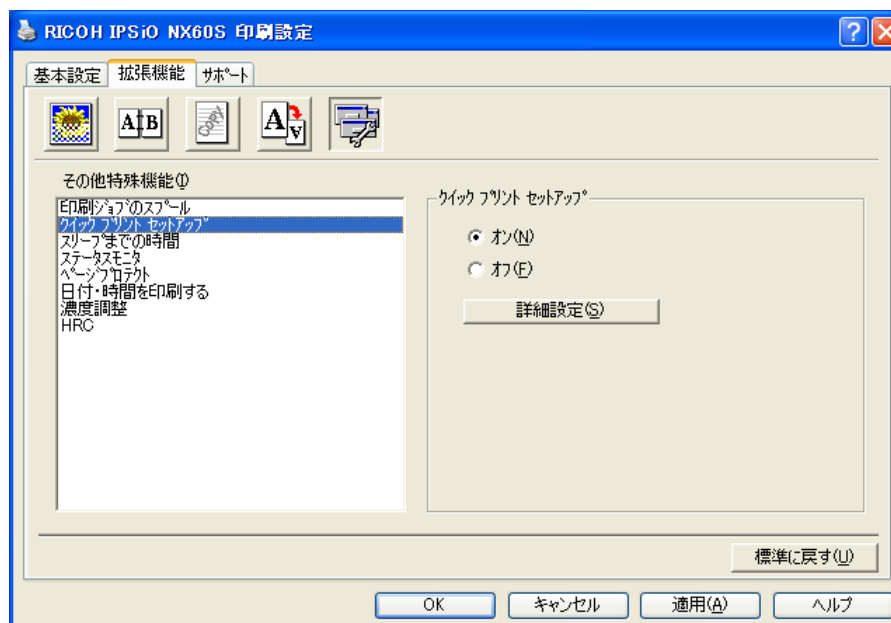
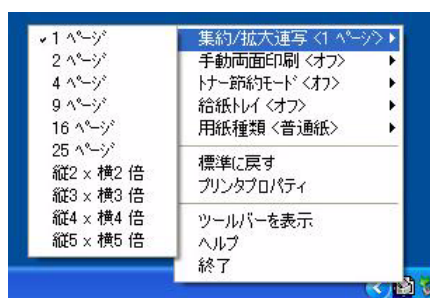
印刷ジョブのスプール

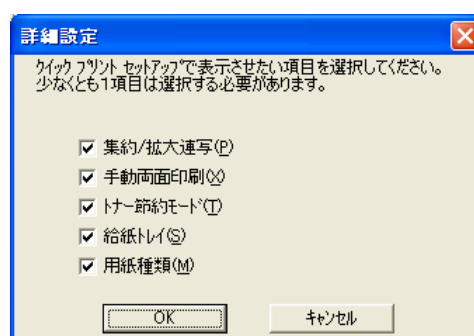
「リプリントを使用」のチェックボックスをチェックしておくと、最後に印刷したジョブをプリンタが記憶します。コンピュータからあらためてデータを送らずに、文書を再び印刷することができます。初期設定ではオフになっています。

再印刷するには、プリンタの Go を押し続け、4 つすべてのランプが点灯したら、Go から指を離します。

メモ

リプリントを使用したい場合は、「リプリントを使用」チェックボックスにチェックを付けてください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

クイックプリントセットアップ
クイックプリントセットアップ機能のオン／オフを切り替えます。

ドライバ設定を簡単に設定・変更することができます。タスクトレイのアイコン上でマウスボタンをクリックするだけで、設定を確認できます。

下記の 5 つの項目を設定できます。
- **集約 / 拡大連写**
- **手動両面印刷**
- **トナー節約モード**
- **給紙トレイ**
- **用紙種類**

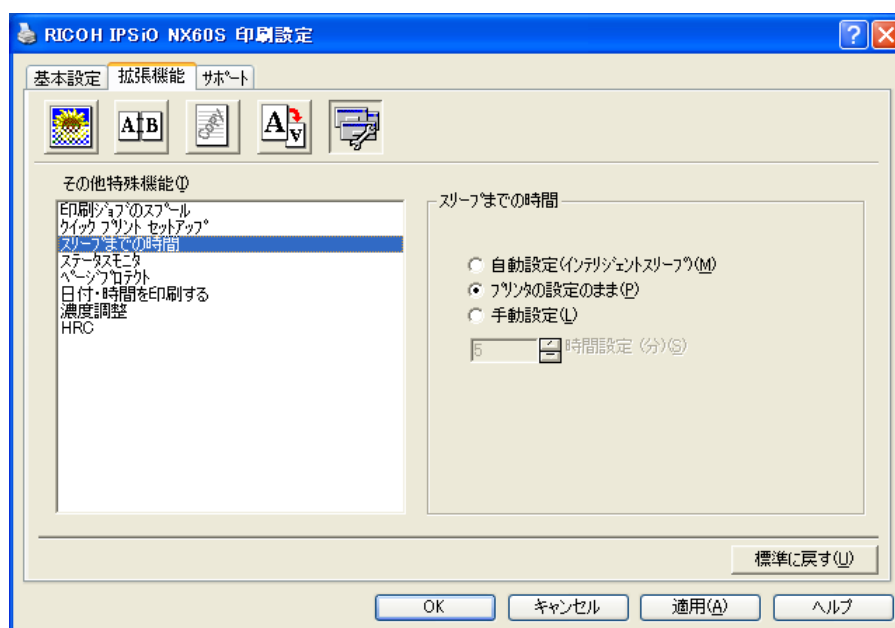
詳細設定(S) **をクリックすると、［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。クイックプリントセットアップ機能使用時に、表示させたい項目のチェックボックスをチェックします。**

スリープまでの時間

スリープモードは、プリンタの電源を切っているときと同じ状態になるため、電力を節約できます。

一定時間プリンタがデータを受信しなかったとき（タイムアウト時）に、スリープモードに切り替わります。

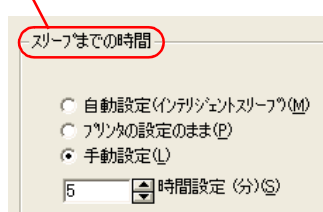
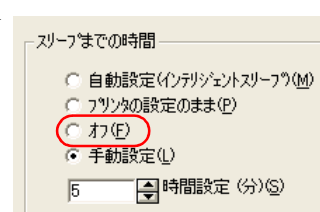
プリンタがスリープモードに入っているときは、Status ランプが淡くグリーンに点灯していますが、コンピュータからのデータは受信することができます。印刷ファイルや文書のデータを受信すると、プリンタは自動的に復帰し、印刷を開始します。

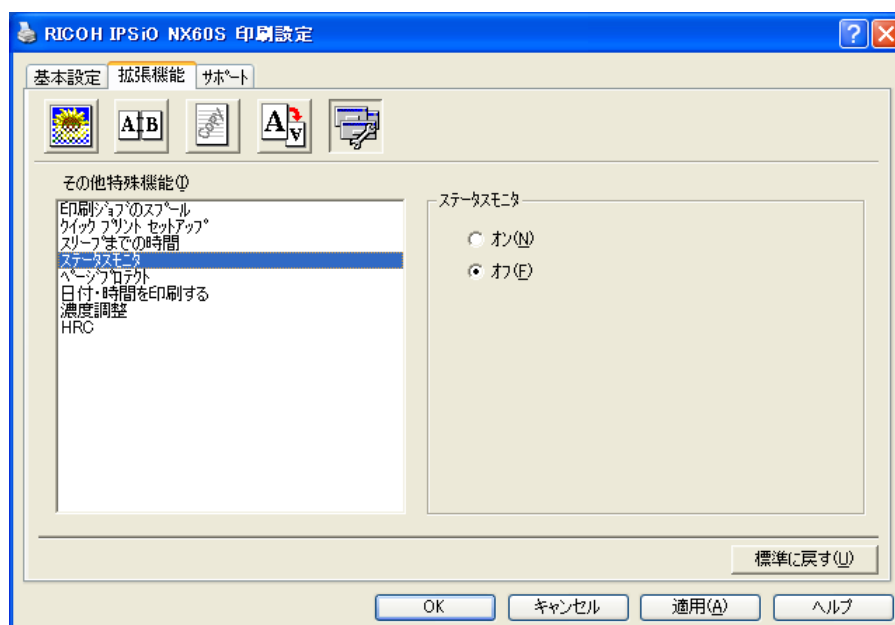
Go または Job Cancel を押しても、プリンタは復帰します。

初期設定時間は 5 分です。

「自動設定（インテリジェントスリープ）」：	プリンタの使用頻度によって、スリープモードに入る最も適切な時間を自動的に調整します。
「プリンタの設定のまま」：	初期設定時間の 5 分でスリープモードに入ります。
「手動設定」：	1 ～ 99 分（1 分単位）の間で設定できます。

スリープモードをオフするには

スリープモードにならないようにオフに設定することもできます。ただし、節電のため、スリープモードをオンにしてお使いになることをお勧めします。

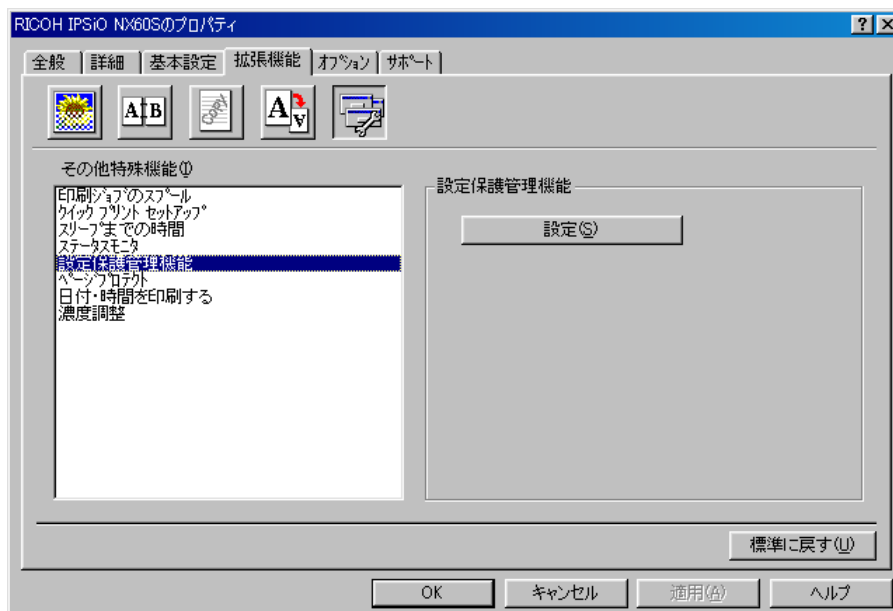
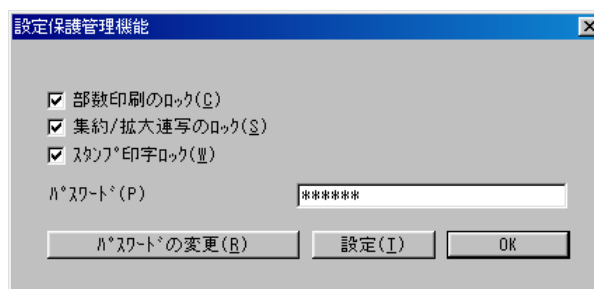
設定内容の一番上に表示されている「スリープまでの時間」をダブルクリックすると、「オフ」が表示されますので、ここで「オフ」をクリックします。

オフが表示されていない　　オフが表示される

ステータスモニタ
印刷時に、プリンタステータス（本プリンタで発生したエラー情報など）を通知します。
初期設定ではオフになっています。

- **他のプリンタで印刷する場合はステータスモニタをオフにしてください。**
- Windows® 2000/XP **の** USB **接続では、ご利用になれません。**

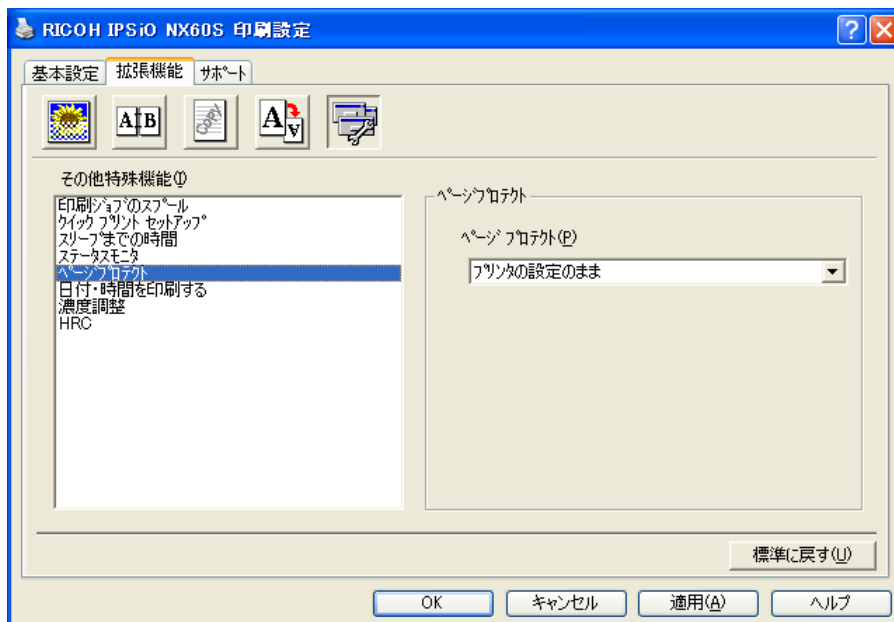
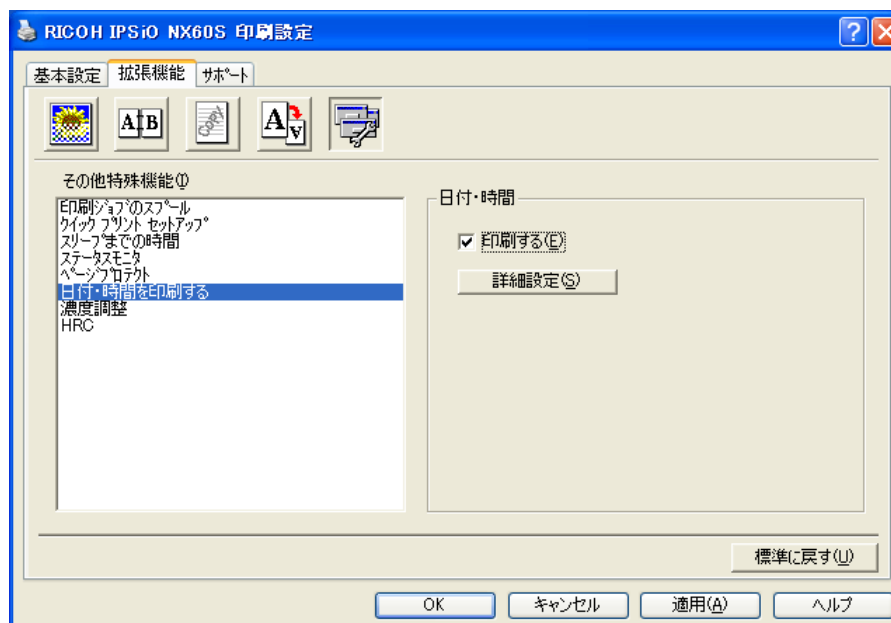
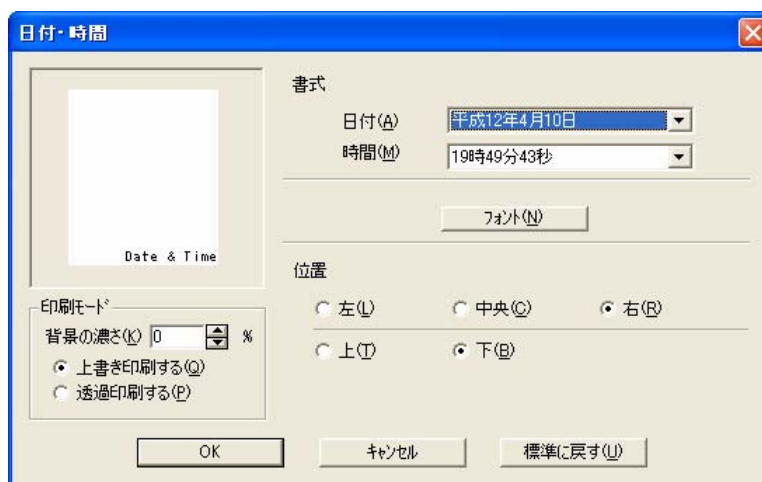
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

設定保護管理機能

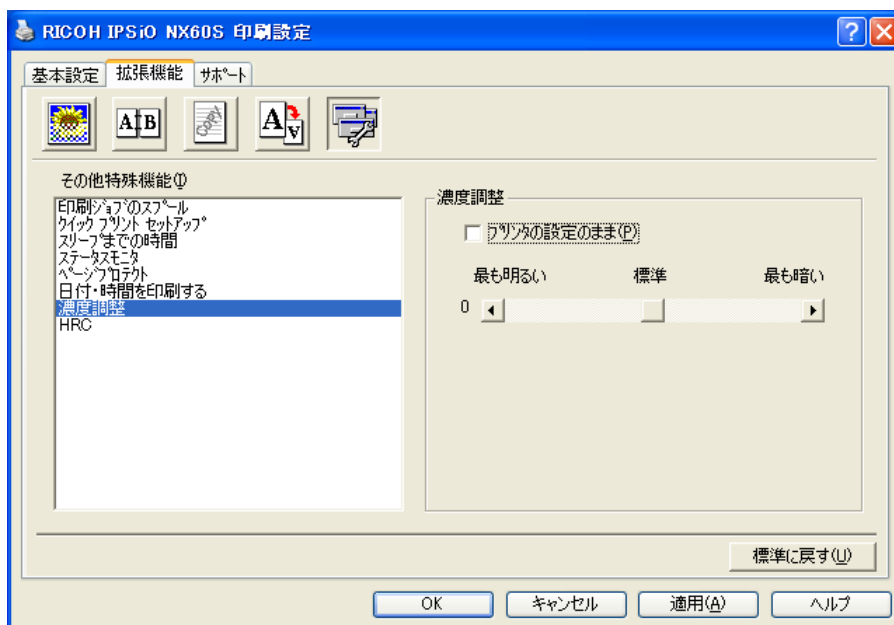
- このセクションは Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。
- このセクションの画面は、Windows® 98 の画面です。

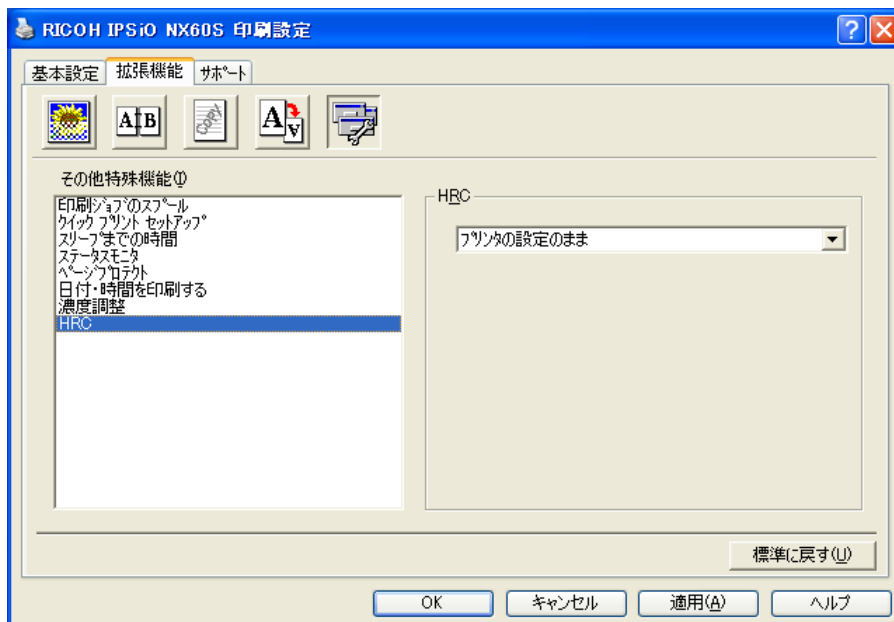
部数印刷、集約 / 拡大連写、拡大縮小、スタンプ印字の設定をロックすることができます。

設定(S) をクリックすると、［設定保護管理機能］ダイアログボックスが表示されます。各項目を設定してください。

- **部数印刷のロック**
  部数印刷をロックして複数部印刷をできなくします。
- **集約 / 拡大連写・拡大縮小のロック**
  集約 / 拡大連写を 1 ページ、拡大縮小を 100% の設定にロックします。
- **スタンプ印字のロック**
  現在設定されているスタンプ印字設定にロックします。
- **パスワード**
  保護したい機能を変更する場合は、登録したパスワードを入力し、［設定］をクリックすると、各保護対象機能のチェックボックスがグレー表示から解除されます。
  パスワードを変更したいとき、および初めてこの機能を設定する場合に、［パスワードの変更］をクリックし、パスワードを設定します。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

ページプロテクト
プリンタが用紙を印刷する前に、印刷データをいったんメモリに保存して、印刷される完全なページイメージをメモリ内に作成します。
イメージのサイズは自動、レター、A4、リーガルから選択できます。

日付・時間を印刷する
日付と時間を自動で文書に入れて印刷することができます。

「印刷する」チェックボックスをチェックし、[詳細設定(S)]をクリックすると、［日付・時間］ダイアログボックスが表示されます。日付と時間の書式や印刷位置、印刷モードの各項目を設定してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

濃度調整

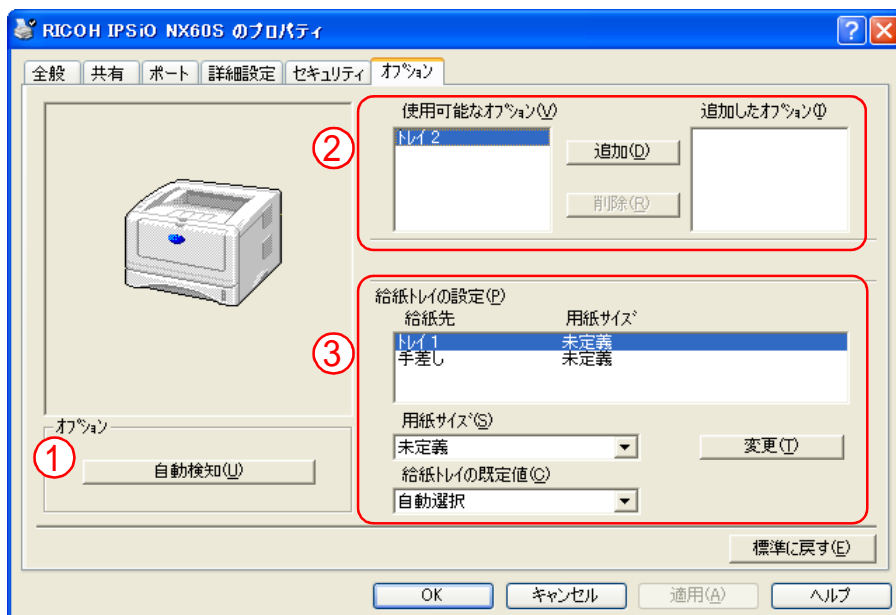
印刷時のトナーの密度を調節できます。
初期設定は、「プリントの設定のまま」です。
手動でトナーの密度を変更するときは、「プリントの設定のまま」チェックボックスのチェックを外し、調節します。

HRC（高解像度コントロール）

HRC（高解像度コントロール）を変更できます。
HRC は、300 または 600dpi（11.8 または 23.6 ドット /mm）で印刷した場合の文字やグラフィックスの印刷品質を改善して印刷する特別な機能です。

下記の 5 つの設定ができます。

- プリンタの設定のまま
- 弱
- 中
- 強
- OFF

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

●［オプション］タブでの設定項目

プリンタにオプションの増設トレイユニットを取り付けたり、取り外したりしたときに、［オプション］タブでそれぞれの設定を行います。
「RICOH IPSiO NX60S のプロパティ」ダイアログボックスの［オプション］タブをクリックします。

［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

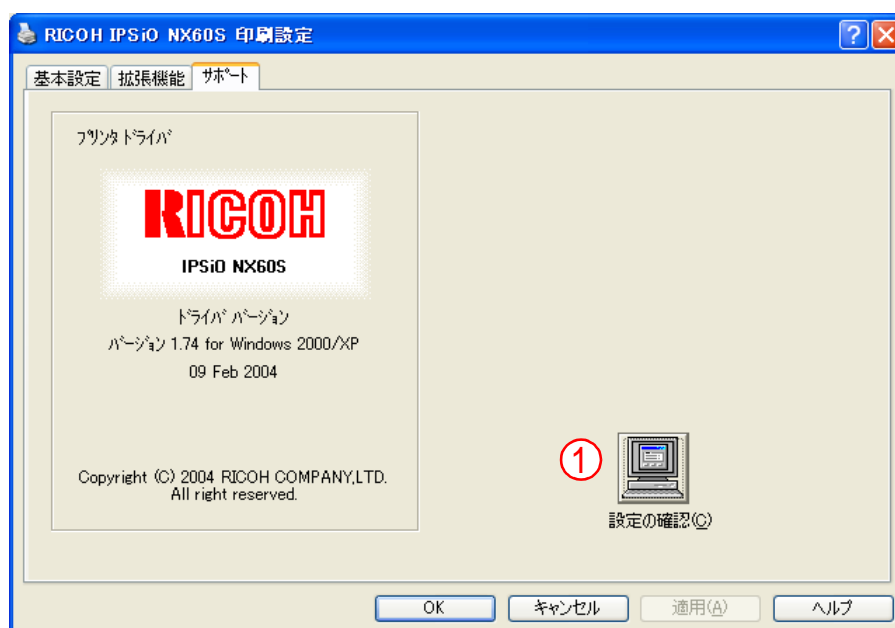
① オプションの自動検出
自動検出機能は、増設トレイユニットが取り付けられているかどうかを自動で認識し、オプションの設定を自動で行います。

・オート検出機能は、プリンタの条件によっては利用できない場合があります。

② オプションの設定を手動で追加、削除します。
「使用可能なオプション」のリストからプリンタに取り付けたオプションをクリックし、［追加(D)］をクリックします。
「追加したオプション」にオプションが追加されます。

③ 給紙トレイの設定
それぞれの用紙トレイの原稿サイズを表示しています。
変更する場合は、給紙先をクリックしたあと、「原稿サイズ」を設定し、［変更(T)］をクリックします。

［サポート］タブでの設定項目

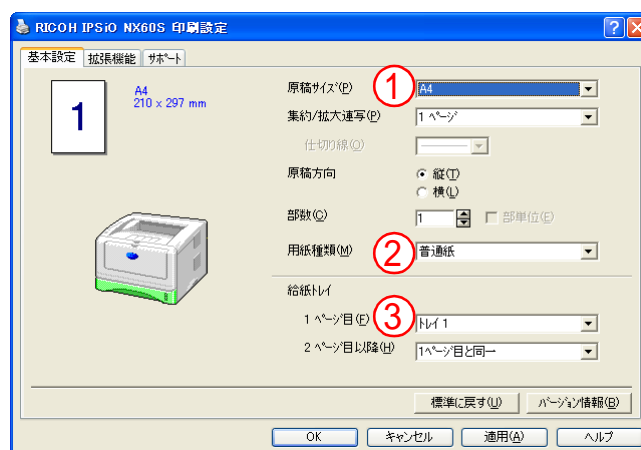
ドライバのバージョンが確認できます。

① 設定の確認

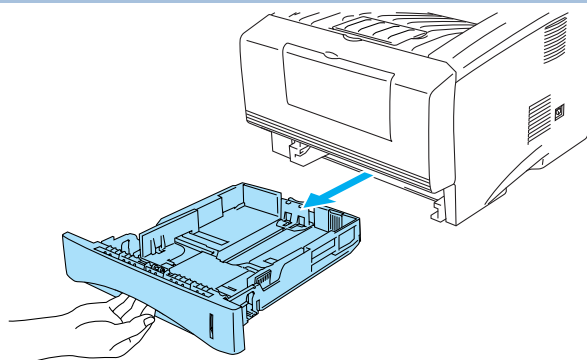
クリックすると、現在のドライバの基本的な設定の一覧が表示されます。

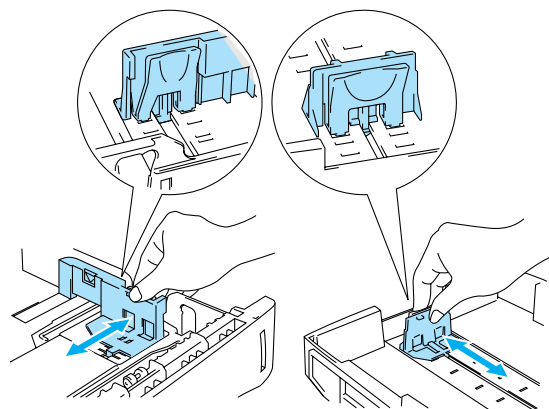
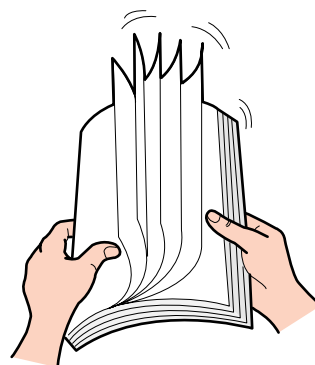
普通紙に印刷する

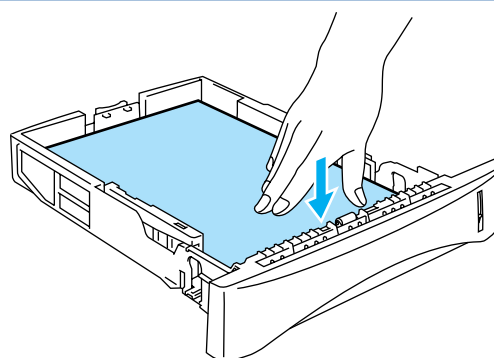
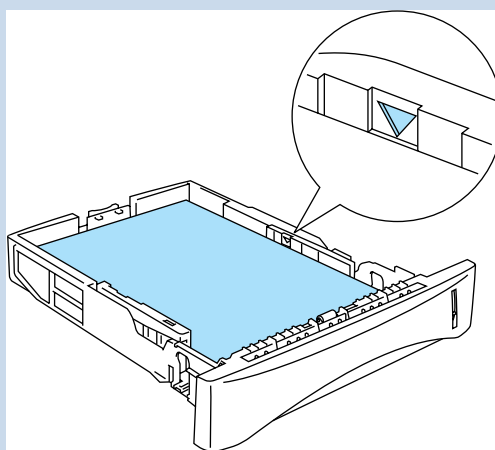
普通紙は、用紙カセットまたは手差しトレイから印刷できます。
使用できる用紙の種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」P.1-12を参照してください。

用紙カセットから印刷する

1 プリンタドライバで、原稿サイズ、用紙種類および給紙トレイなどを設定します。

① 原稿サイズ：任意選択
② 用紙種類　：普通紙（厚め）、普通紙
③ 給紙トレイ 1 ページ目：トレイ 1

2 プリンタから用紙カセットを引き出します。

3 青色のペーパーガイドレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

ペーパーガイドが使用する原稿サイズの溝にはまっていることを確認してください。

4 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、用紙をさばきます。

5 用紙カセットに用紙をセットします。

用紙が平らになっていることを確認してください。

- 用紙は▼マークまでセットすることができます。用紙カセットに用紙を 250 枚（64g/m²）以上セットしないでください。紙づまりが起こるおそれがあります。
- 片面をすでに印刷した用紙に印刷する場合には、印刷する面（白紙面）を下向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、用紙カセットにセットされている用紙の一番上にセットしてください。

6 用紙カセットをプリンタに戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

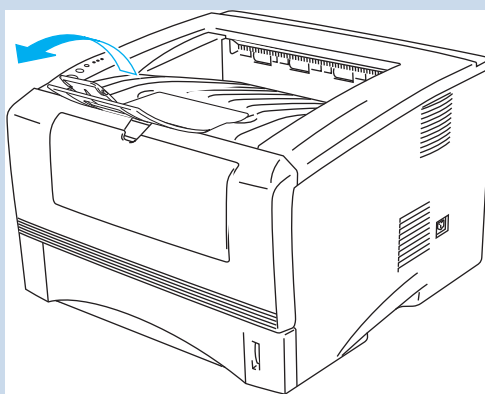
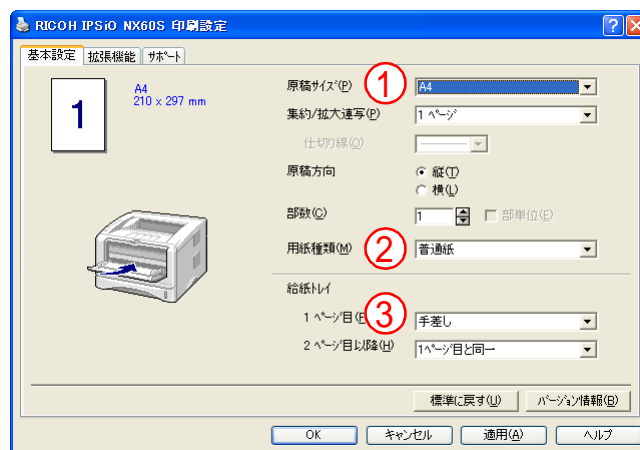
- 印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばしてください。
- 用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばさない場合には、プリンタから出てきた用紙をすぐに取り除くことをお勧めします。

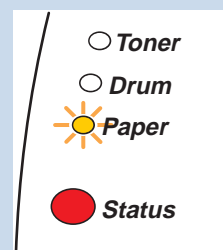
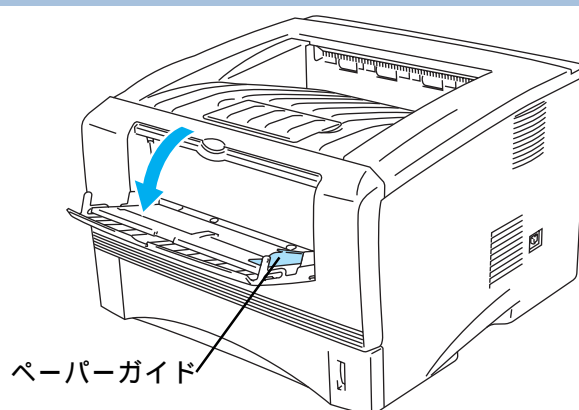
7 印刷データをプリンタに送ります。

手差しトレイから印刷する

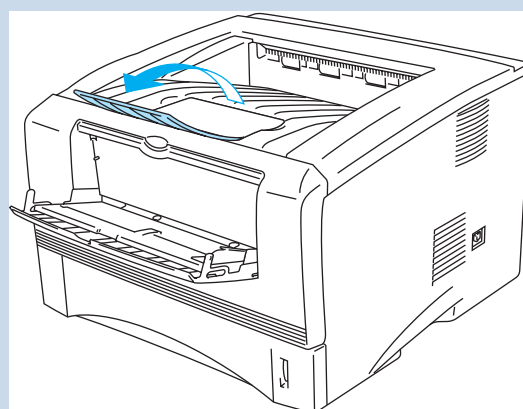
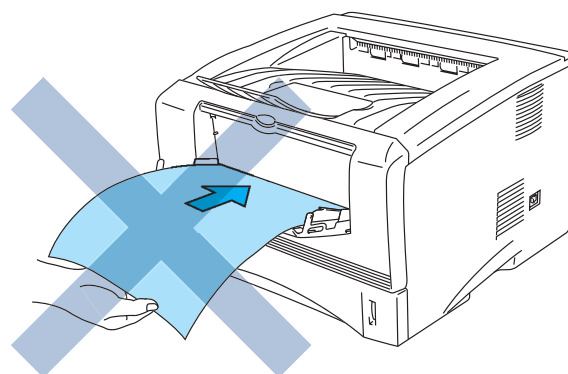
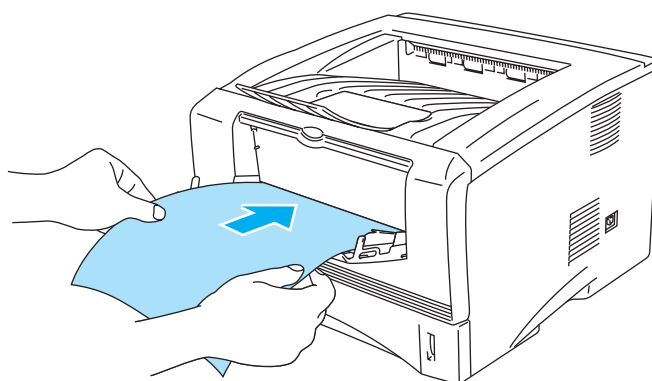
用紙カセットにくらべ、印字位置精度が悪くなる恐れがありますので、手差しから、プレ印刷用紙（あらかじめ、罫線等が印刷された帳票等）を印刷することは推奨しません。

手差しトレイから用紙を挿入すると、プリンタは自動的に手差しトレイからの印刷モードに切り替わります。

1 プリンタドライバで、原稿サイズ、用紙種類および給紙トレイなどを設定します。

① 原稿サイズ：任意選択
② 用紙種類　：普通紙（厚め）、普通紙、ボンド紙
③ 給紙トレイ 1 ページ目：手差し

2 印刷データをプリンタに送ります。

手差しトレイに用紙を挿入するまで、“紙切れ”のメッセージがコントロールパネル上のランプに表示されます。

3 手差しトレイを開け、ペーパーガイドをスライドさせて、使用する原稿サイズの幅に合わせます。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

・印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばしてください。

・用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばさない場合には、プリンタから出てきた用紙をすぐに取り除くことをお勧めします。

4 **用紙を両手で持って、手差しトレイから挿入します。用紙の先端が給紙ローラーに触れたら、そのままの状態で待ちます。プリンタが自動的に給紙し始めたら、用紙から手を離します。**

・用紙は、手差しトレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりするおそれがあります。

・用紙は 1 枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こすおそれがあります。

・プリンタが印刷可能状態になる前に、手差しトレイに用紙を挿入した場合は、そのまま給紙され、印刷されずに排出されます。

5 **印刷した用紙をプリンタが排出したら、手順 4 に従って次の用紙を挿入します。**

印刷する枚数分、繰り返してください。

厚紙およびハガキに印刷する

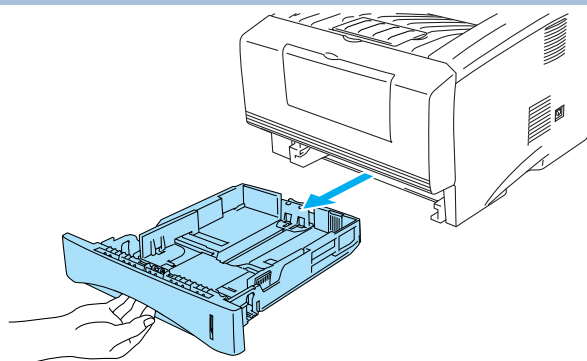
厚紙は、手差しトレイから印刷できます。
ハガキは、用紙カセット、手差しトレイから印刷できます。
背面排紙トレイを開けているときは、手差しトレイから給紙された用紙は、プリンタをまっすぐ通り背面から排出されます。
この方法を使って厚紙やハガキに印刷すると、反りがほとんどなく印刷できます。
使用できる用紙の種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」P.1-12を参照してください。

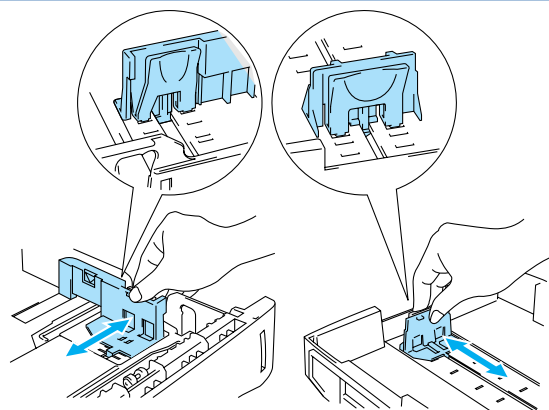
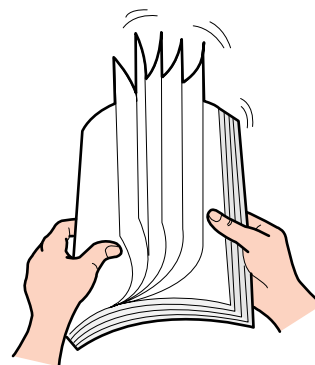
用紙カセットから印刷する

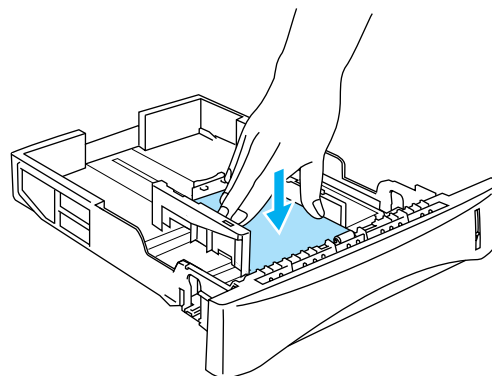
用紙カセットへは、30 枚以上のハガキをセットしないでください。またオプションの増設トレイユニットからはハガキの印刷は行わないでください。

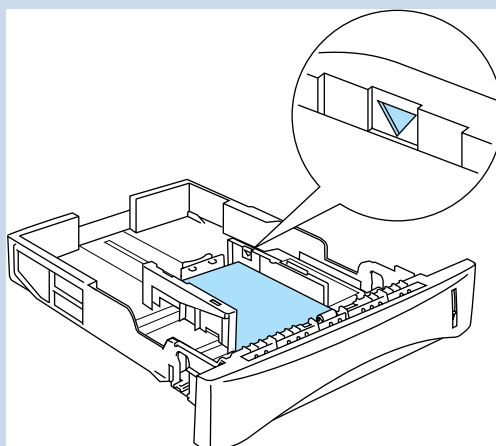
1 プリンタドライバで、原稿サイズ、用紙種類および給紙トレイなどを設定します。

① 原稿サイズ：ハガキ
② 用紙種類　：厚紙（ハガキ）、超厚紙
③ 給紙トレイ 1 ページ目：トレイ 1

2 プリンタから用紙カセットを引き出します。

3 青色のペーパーガイドレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

ペーパーガイドが使用する原稿サイズの溝にはまっていることを確認してください。

4 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、用紙をさばきます。

5 用紙カセットに用紙をセットします。

用紙が平らになっていることを確認してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

- 用紙は▼マークまでセットすることができます。用紙カセットにハガキを 30 枚以上セットしないでください。紙づまりが起こる可能性があります。
- 片面をすでに印刷した用紙に印刷する場合には、印刷する面（白紙面）を下向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、用紙カセットにセットされている紙紙の一番上にセットしてください。

6 用紙カセットをプリンタに戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

7 印刷データをプリンタに送ります。

手差しトレイから印刷する

用紙カセットにくらべ、印字位置精度が悪くなる恐れがありますので、手差しから、プレ印刷用紙（あらかじめ、罫線等が印刷された帳票等）を印刷することは推奨しません。

手差しトレイから用紙を挿入すると、プリンタは自動的に手差しトレイからの印刷モードに切り替わります。

1 プリンタドライバで、原稿サイズ、用紙種類および給紙トレイなどを設定します。

① 原稿サイズ：ハガキ（ハガキの場合）
任意選択（厚紙の場合）
② 用紙種類　：厚紙（ハガキ）、超厚紙
③ 給紙トレイ 1 ページ目：手差し

2 背面排紙トレイを開けます。

3 印刷データをプリンタに送ります。

手差しトレイに用紙を挿入するまで、“紙切れ”のメッセージがコントロールパネル上のランプに表示されます。

4 手差しトレイを開け、ペーパーガイドをスライドさせて、使用する原稿サイズの幅に合わせます。

5 用紙を両手で持って、手差しトレイから挿入します。用紙の先端が給紙ローラーに触れたら、そのままの状態で待ちます。プリンタが自動的に給紙し始めたら、用紙から手を離します。

- 用紙は、手差しトレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりするおそれがあります。
- 用紙は 1 枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こすおそれがあります。
- プリンタが印刷可能状態になる前に、手差しトレイに用紙を挿入した場合は、そのまま給紙され、印刷されずに排出されます。

6 印刷した用紙をプリンタが排出したら、手順 5 に従って次の用紙を挿入します。

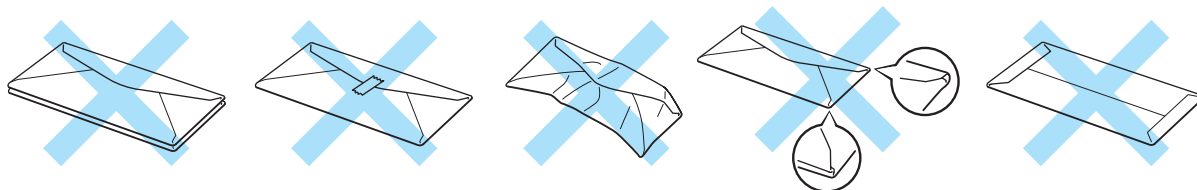
印刷する枚数分、繰り返してください。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を背面排紙トレイにためておくと、反りや紙づまりの原因になります。

7 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。

・破れ、反り、しわのある封筒、または規格外の封筒
・極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
・留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
・粘着加工を施した封筒
・袋状加工の封筒
・折り目がしっかりついていない封筒
・エンボス加工の封筒
・レーザープリンタで一度印刷された封筒
・内部が印刷された封筒
・一定に積み重ねられない封筒
・プリンタの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
・作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
・透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
・タテ形（和形）の封筒

上記の種類の封筒を使用すると、プリンタが故障する可能性があります。
この場合の故障は保証またはサービス契約の対象には含まれませんのでご注意ください。

・封筒に両面印刷することはできません。
・正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの原稿サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。
・「使用できる用紙と領域」P.1-12を参照してください。

ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。
先端の紙の貼り合せ部分が厚過ぎず、角がまっすぐで、しっかりと折り目が付けられているものを選択してください。適した封筒は、ふくらんでいなく、薄くて平らな状態になっています。
また、レーザープリンタ用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する場合は、必ず小部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

特に推奨するメーカーはありません。上記の使用できない封筒以外の印刷に適した封筒をお選びください。

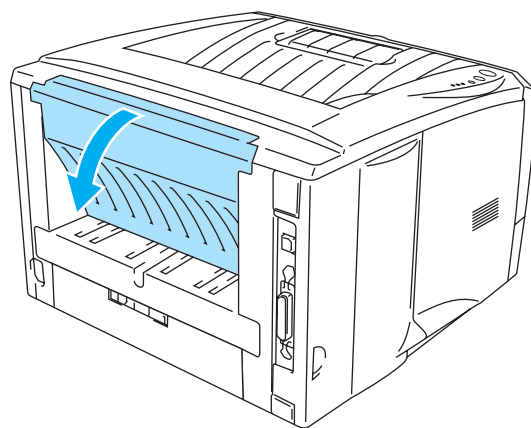
手差しトレイから印刷する

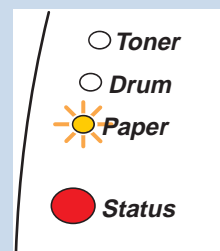
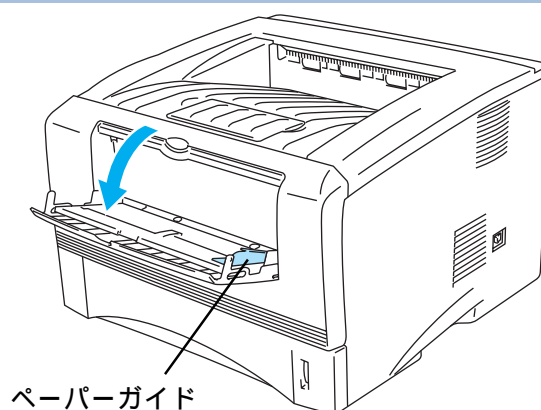
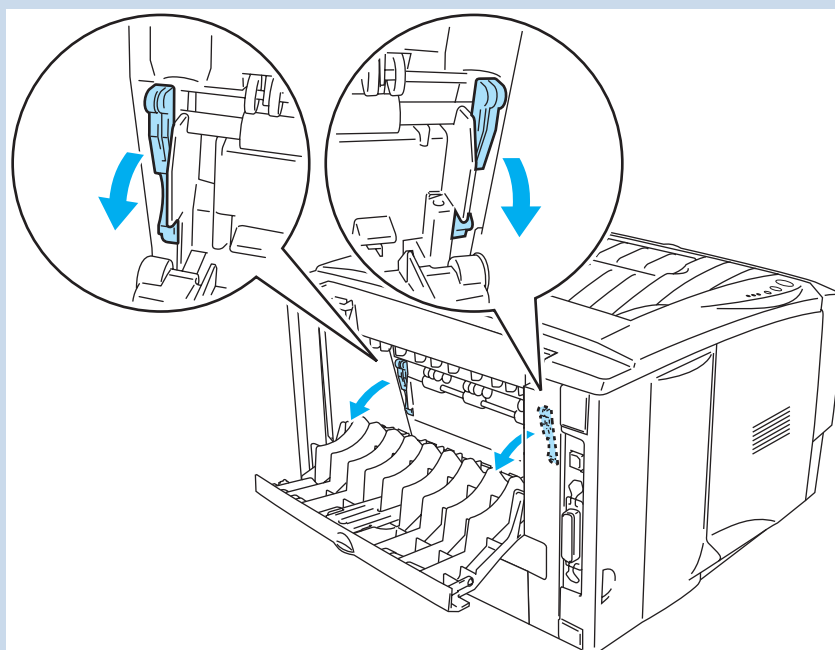
背面排紙トレイを開けているときは、手差しトレイから給紙された封筒は、プリンタをまっすぐ通り背面から排出されます。
この方法を使って封筒に印刷すると、反りがほとんどなく印刷できます。

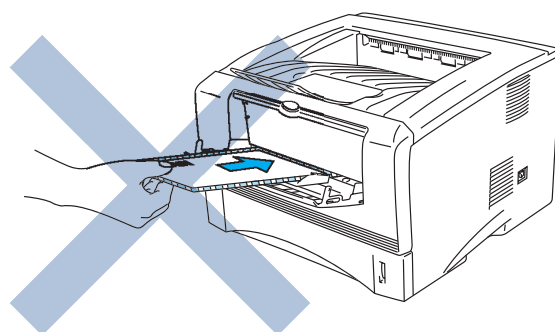
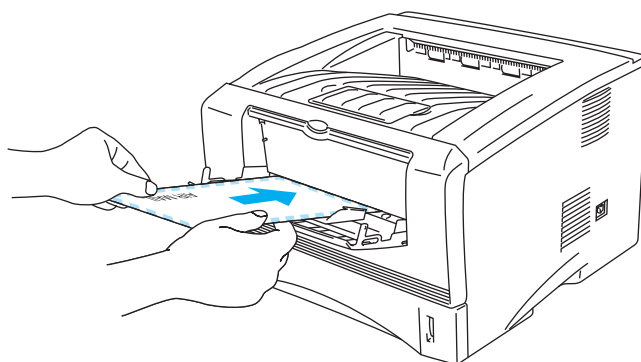
手差しトレイから封筒を挿入すると、プリンタは自動的に手差しトレイからの印刷モードに切り替わります。

1 プリンタドライバで、原稿サイズ、用紙種類および給紙トレイなどを設定します。

① 原稿サイズ：洋形 4 号、洋形最大
② 用紙種類　：封筒、封筒（厚め）、封筒（薄め）
③ 給紙トレイ 1 ページ目：手差し

2 背面排紙トレイを開けます。

3 印刷データをプリンタに送ります。

手差しトレイに封筒を挿入するまで、“ 紙切れ ” のメッセージがコントロールパネル上のランプに表示されます。

4 手差しトレイを開け、ペーパーガイドをスライドさせて、使用する封筒サイズの幅に合わせます。

印刷した封筒にしわや折り目が付く場合
図のように、プリンタ背面の背面用紙トレイを開け、左右の青色のつまみを押し下げます。

印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。つまみがリセットされ元の位置に戻ります。

5 封筒を両手で持って、手差しトレイから挿入します。封筒の先端が給紙ローラーに触れたら、そのままの状態で待ちます。プリンタが自動的に給紙し始めたら、封筒から手を離します。

- 封筒は、手差しトレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。封筒が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりするおそれがあります。
- 封筒は 1 枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こすおそれがあります。
- 印刷したい面を上向きにして、手差しトレイに挿入してください。
- プリンタが印刷可能状態になる前に、手差しトレイに封筒を挿入した場合は、そのまま給紙され、印刷されずに排出されます。

6 印刷した封筒をプリンタが排出したら、手順 5 に従って次の封筒を挿入します。

印刷する枚数分、繰り返してください。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷した封筒をすぐに取り除いてください。印刷した封筒を背面排紙トレイにためておくと、反りや紙づまりの原因になります。

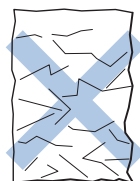
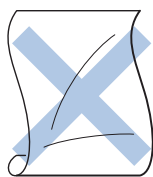
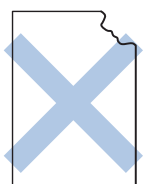
7 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

- 印刷することで、封筒ののり付けされている部分がはがれることはありません。
- 封筒の周囲に折り目やしわを付けないでください。

OHP 用紙・ラベル紙に印刷する

OHP 用紙は、用紙カセット、手差しトレイから印刷できます。
ラベル紙は、手差しトレイから印刷できます。

OHP 用紙やラベル紙に関する注意点

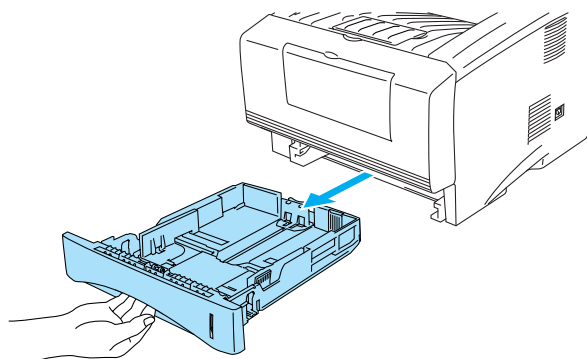
- 破れ、反り、しわのある用紙、規格外の用紙はご使用にならないでください。
- 台紙が付いていないラベル紙は使用しないでください。プリンタに損傷を与えることがあります。
- レーザープリンタ印刷用紙の OHP 用紙、ラベル紙をお使いいただくことをお勧めします。
- プリンタの内部は印刷中高温になりますので、その熱に耐え得る素材の OHP 用紙やラベル紙をご使用ください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

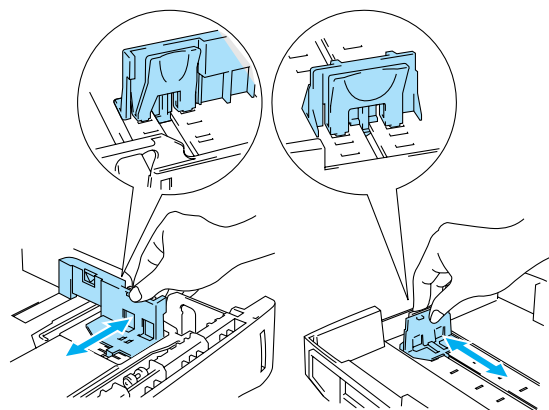
用紙カセットから印刷する

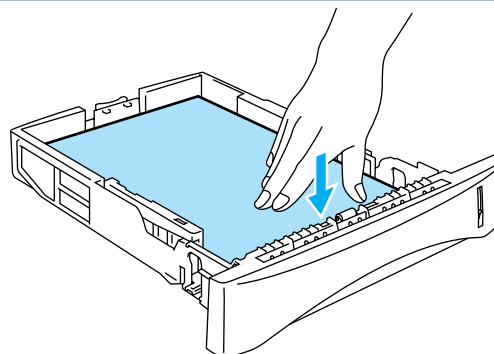
用紙カセットへは、10 枚以上の OHP 用紙をセットしないでください。またオプションの増設トレイユニットから OHP 用紙の印刷はしないでください。

1 プリンタドライバで、原稿サイズ、用紙種類および給紙トレイなどを設定します。

① **原稿サイズ：**A4、レター
② **用紙種類　：**OHP
③ **給紙トレイ** 1 **ページ目：トレイ** 1

2 プリンタから用紙カセットを引き出します。

3 青色のペーパーガイドレバーをつまみながらスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

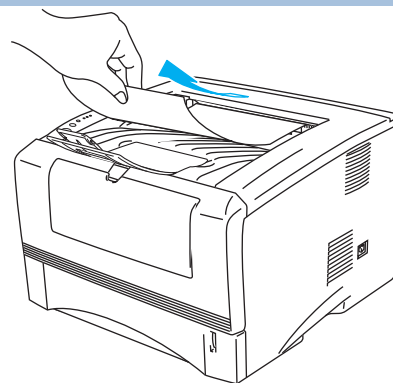
ペーパーガイドが使用する原稿サイズの溝にはまっていることを確認してください。

4 用紙カセットに用紙をセットします。

用紙が平らになっていることを確認してください。

用紙は▼マークまでセットすることができます。用紙カセットに OHP 用紙を 10 枚以上セットしないでください。紙づまりが起こる可能性があります。

5 用紙カセットをプリンタに戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパー・補助用紙ストッパーを伸ばしてください。

6 印刷データをプリンタに送ります。

プリンタから出てきた用紙は、上面排紙トレイからすぐに取り除いてください。

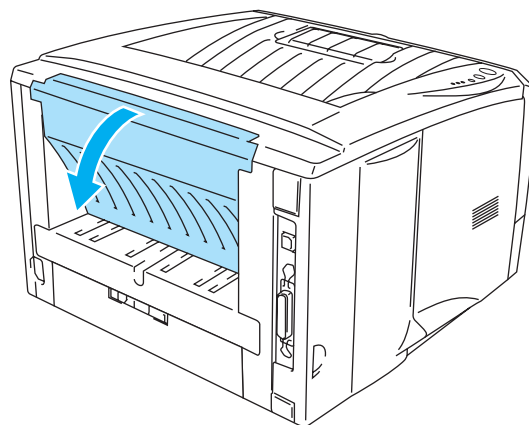
手差しトレイから印刷する

背面排紙トレイを開けているときは、手差しトレイから給紙された用紙は、プリンタをまっすぐ通り背面から排出されます。

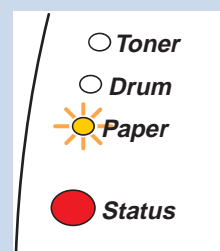
手差しトレイから用紙を挿入すると、プリンタは自動的に手差しトレイからの印刷モードに切り替わります。

1 プリンタドライバで、原稿サイズ、用紙種類および給紙トレイなどを設定します。

① 原稿サイズ：A4、レター
② 用紙種類　：OHP（OHP 用紙の場合）
　　　　　　　超厚紙（ラベル紙の場合）
③ 給紙トレイ 1 ページ目：手差し

2 背面排紙トレイを開けます。

3 印刷データをプリンタに送ります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

手差しトレイに用紙を挿入するまで、" 紙切れ " のメッセージがコントロールパネル上のランプに表示されます。

4 手差しトレイを開け、ペーパーガイドをスライドさせて、使用する原稿サイズの幅に合わせます。

5 用紙を両手で持って、手差しトレイから挿入します。用紙の先端が給紙ローラーに触れたら、そのままの状態で待ちます。プリンタが自動的に給紙し始めたら、用紙から手を離します。

- 用紙は、手差しトレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりするおそれがあります。
- 用紙は 1 枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こすおそれがあります。
- プリンタが印刷可能状態になる前に、手差しトレイに用紙を挿入した場合は、そのまま給紙され、印刷されずに排出されます。

6 印刷した用紙をプリンタが排出したら、手順 5 に従って次の用紙を挿入します。

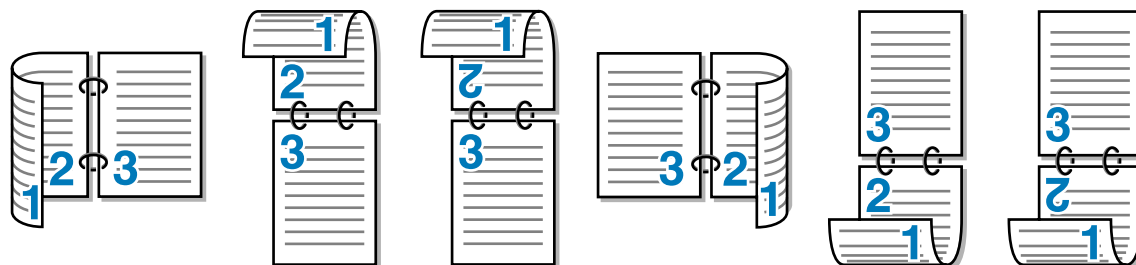
印刷する枚数分、繰り返してください。

1 枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を背面排紙トレイにためておくと、反りや紙づまりの原因になります。

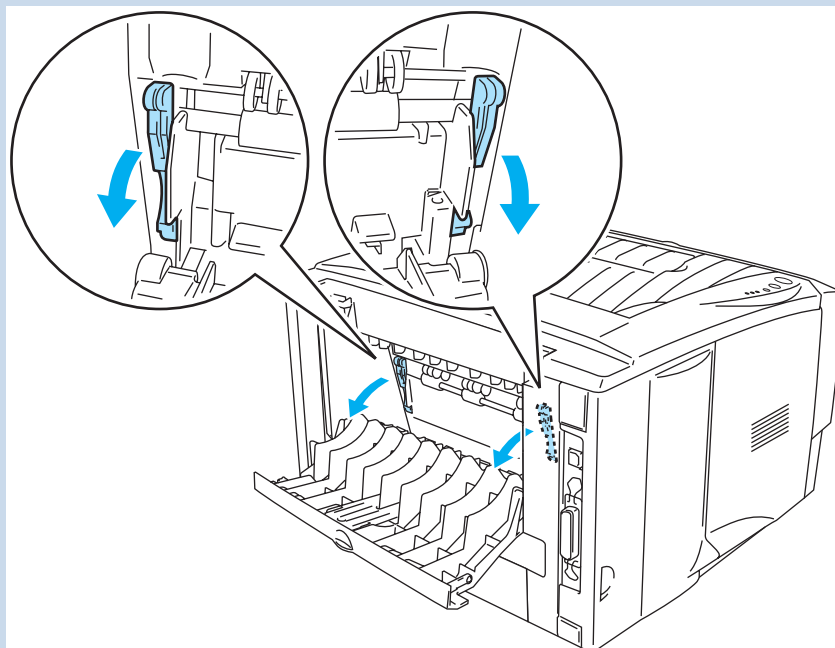
7 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じます。

両面印刷する

設定についての詳細は、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

両面印刷の例

両面印刷に関する注意点

・用紙が薄い場合は、しわが付くことがあります。
・用紙が反っている場合は、まっすぐに伸ばしてから用紙カセットに入れてください。
・ボンド紙は使用できません。
・用紙カセットを使った両面印刷で、偶数ページ（裏面）の印刷が終了して奇数ページ（表面）の印刷を開始するときは、用紙カセット内に残っている用紙を一度取り出してください。その後、偶数ページ（裏面）を印刷した用紙のみを入れてください。そのとき印刷する面を上向きに入れてください。（印刷されていない用紙の上に、印刷された用紙を重ねないでください。）
・用紙が正常に給紙されないときは、用紙が反っていることがあります。用紙を取り出してまっすぐに伸ばしてください。

手差しトレイを使って厚紙を両面印刷する場合、偶数ページ（裏面）を印刷した後、奇数ページ（表面）を印刷するとき用紙にしわが発生することがあります。
このようなときは、図のように、プリンタ背面の背面用紙トレイを開け、左右の青色のつまみを押し下げます。

印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。このとき、つまみは自動的に元の位置に戻ります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

両面印刷のポイント

はじめに偶数ページ（裏面）を印刷します。
例えば、用紙 5 枚を使って 10 ページ分印刷する場合、まず 2 ページ、4 ページ、6 ページ ... が片面に印刷されます。その後印刷された用紙を用紙カセットまたはトレイに入れ、もう一方の面に 1 ページ、3 ページ、5 ページ ... と順に印刷されます。

両面印刷する場合は、次の方法で用紙カセットまたはトレイに用紙を入れてください。

手差しトレイの場合

トレイに用紙を入れたときの上面が、印刷面になります。

① トレイに挿入した用紙の上面に偶数ページ（裏面）を印刷します。

② 偶数ページ（裏面）の印刷された面を下向きにしてトレイに挿入し、上面に奇数ページ（表面）を印刷します。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

① レターヘッドが印刷された面を下向きにしてトレイに挿入し、レターヘッドが印刷されていない面（上面）に 2 ページ目（裏面）を印刷します。

② レターヘッドが印刷された面を上向きにトレイに挿入し、1 ページ目（表面）を印刷します。

用紙カセットまたは 250 枚増設トレイユニット（オプション）

カセットに用紙を入れたときの下面が、印刷面になります。

① 印刷する面を下向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、カセットに用紙を入れ、偶数ページ（裏面）を印刷します。

② 偶数ページ（裏面）の印刷された面を上向きに（用紙の上がトレイの前側にくるように）して、1 枚目が 1 番上、2 枚目が上から 2 番目になるように用紙を重ねてカセットに用紙を入れ、奇数ページ（表面）を印刷します。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

① レターヘッドが印刷された面を上向きにして用紙の一番上に置き、カセットに用紙を入れ、偶数ページ（裏面）を印刷します。

② 偶数ページ（裏面）の印刷された面を上向きにして、レターヘッドが印刷された 1 枚目が 1 番上、2 枚目が上から 2 番目になるように用紙を重ねてカセットに用紙を入れ、奇数ページ（表面）を印刷します。

用紙カセットから両面印刷する

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定します。

「[拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

① A|B（両面印刷）をクリックします。

②「手動両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

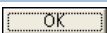
2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、原稿サイズ、用紙種類、給紙トレイなどを設定します。

「[基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

● 給紙トレイ：トレイ 1

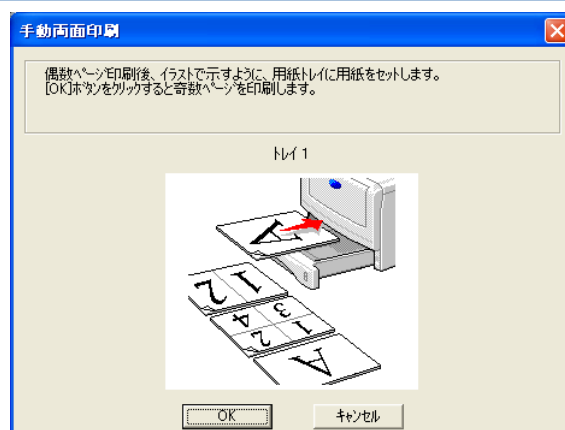
メモ 用紙カセットからの印刷については、「用紙カセットから印刷する」P.2-29を参照してください。

3 プリンタは、まず用紙の片面に偶数ページを印刷します。

コンピュータの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示に従ってください。

4 OK をクリックします。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

5 上面排紙トレイから偶数ページが印刷された用紙を取り出し、印刷されている面を上向きにして用紙カセットに戻します。

コンピュータの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示に従ってください。

6 OK をクリックします。

7 用紙のもう一方の面に奇数ページを印刷します。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

手差しトレイから両面印刷する

- 用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばしてください。紙の反りは紙づまりの原因になります。
- 薄紙、厚紙の使用はできるだけ避けてください。
- 両面印刷の機能を使うと、紙づまりが起こったり、印刷品質が落ちることがあります。紙づまりが起こった場合は、「紙づまりが起きたときは」P.6-8を参照してください。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

① A|B（両面印刷）をクリックします。

②「手動両面印刷」チェックボックスをチェックします。

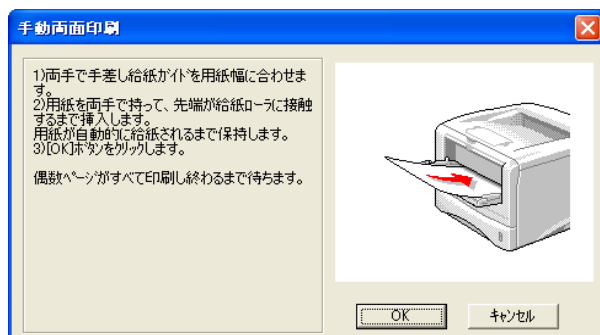
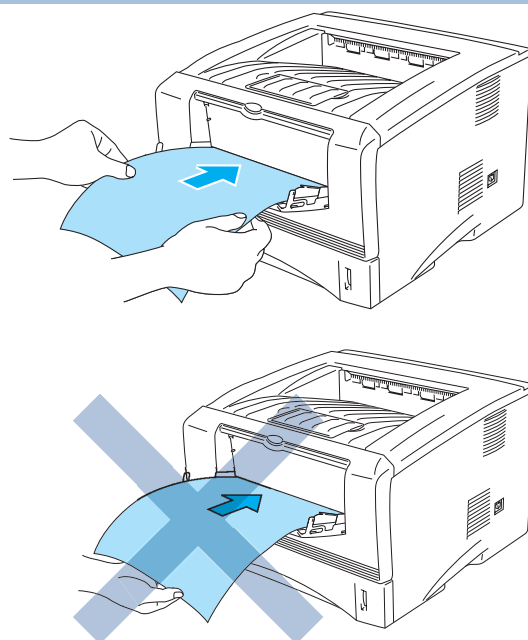
③「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、原稿サイズ、用紙種類、給紙トレイなどを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

● 給紙トレイ：手差し

手差しトレイからの印刷については、「手差しトレイから印刷する」P.2-32を参照してください。

3 偶数ページを印刷する面を両手で持ち、手差しトレイに用紙を挿入します。

コンピュータの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示に従ってください。

4 OK をクリックします。

5 すべての偶数ページの印刷が終了するまで、手順 3 の作業を繰り返してください。

6 偶数ページが印刷された用紙を取り、奇数ページを印刷する面を上向きにして順番に手差しトレイから挿入します。

コンピュータの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示に従ってください。

7 OK をクリックします。

8 すべての奇数ページの印刷が終了するまで、手順 6 の作業を繰り返してください。

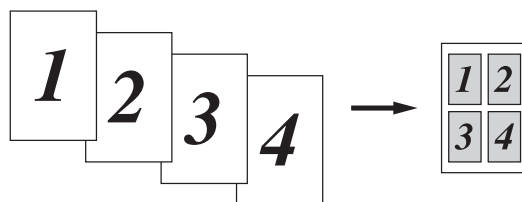
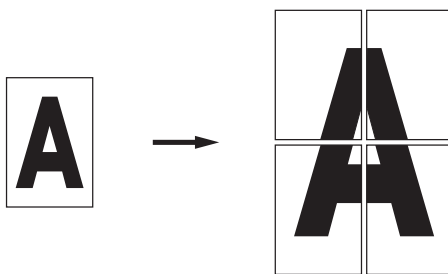
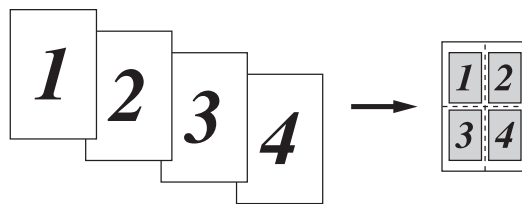
複数のページを1枚にまとめて印刷する

複数のページを 1 枚の用紙にまとめて印刷したり、逆に 1 ページを複数の用紙に分割して印刷したりする方法について説明します。
確認のため試し印刷をするときなどに使用すると、用紙の節約になります。

1 プリンタドライバの［基本設定］タブで、原稿サイズ、用紙種類、給紙トレイなどを設定した後、集約 / 拡大連写を設定します。

「[基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

① 「集約 / 拡大連写」から 1 枚にまとめて印刷するページ数（1,2,4,9,16,25 ページ）を選択します。

・ 例えば、「4 ページ」を選択した場合、4 ページ分を 1 枚にまとめて印刷します。
「4 ページ」を選択

・ 「縦 2 ×横 2 倍」、「縦 3 ×横 3 倍」、「縦 4 ×横 4 倍」、「縦 5 ×横 5 倍」を選択した場合は、1 ページを選択した分割数で印刷します。
例えば、「縦 2 ×横 2 倍」を選択した場合は、1 ページ分を 4 枚に分割して印刷します。
「縦 2 ×横 2 倍」を選択

② 1 枚に複数ページをまとめた場合、各ページに境界線を入れたいときは、「仕切り線」から線種を選択します。境界線が必要ないときは、「なし」を選択します。
「4 ページ」を選択、仕切り線「- - - - -」を選択

2 印刷を開始します。

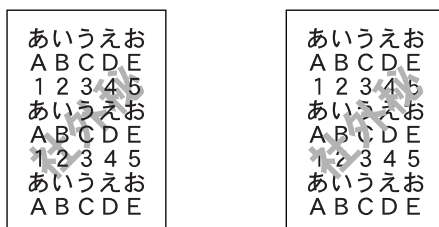
印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-29、「厚紙およびハガキに印刷する」P.2-34などを参照してください。

スタンプ印字（すかし）を入れて印刷する

ロゴや本文をスタンプ印字（すかし）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたスタンプ印字の 1 つを選択するか、作成済みのビットマップファイルまたはテキストファイルを使うことができます。

スタンプ印字を使用した例

あいうえお
ＡＢＣＤＥ
１２３４５
あいうえお
ＡＢＣＤＥ
１２３４５
あいうえお
ＡＢＣＤＥ

あいうえお
ＡＢＣＤＥ
１２３４５
あいうえお
ＡＢＣＤＥ
１２３４５
あいうえお
ＡＢＣＤＥ

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、スタンプ印字（すかし）を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9 を参照してください。

① （スタンプ印字）をクリックします。

②「スタンプ印字を使う」チェックボックスをチェックします。

③「スタンプ印字選択」のリストから印刷するスタンプ印字を選択します。

・ リストに表示されているスタンプ印字の設定を変更したいときは、［編集(E)］をクリックします。

・ 新しくスタンプ印字を作成したいときは、［新規(N)］をクリックします。
表示された［スタンプ印字設定］ダイアログボックスでスタンプ印字を設定・変更します。

④必要に応じて、「バックグラウンド印刷」、「袋文字で印刷する」、「スタンプ印字印刷設定」などを設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、原稿サイズ、用紙種類、給紙トレイなどを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5 を参照してください。

3 印刷を開始します。

印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-29 、「厚紙およびハガキに印刷する」P.2-34 などを参照してください。

原稿サイズを変えて印刷する

アプリケーションソフトで原稿サイズを指定して作成された文書は、通常その原稿サイズで印刷する必要があります。この機能を使うと、指定した原稿サイズに収まるように、文書を拡大縮小して印刷できます。

例えば、A4 サイズで作成されたデータを印刷したいが用紙が B5 サイズしかない場合、文書を縮小して B5 サイズの用紙に印刷できます。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、拡大縮小を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-9を参照してください。

① （ページ設定）をクリックします。

②「印刷用紙サイズに合わせます」を選択します。

③「印刷用紙サイズ」から原稿サイズを選択します。

原稿サイズではなく任意の倍率を指定して、印刷することもできます。
その場合は、「任意倍率」を選択して、「任意倍率［25 ー 400%］」で倍率を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、原稿サイズ、用紙種類、給紙トレイなどを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

手順 1 の③で選択した原稿サイズを選択してください。原稿サイズが合っていないと、文書が用紙からはみ出したり、用紙より小さく印刷されてしまいます。

3 印刷を開始します。

印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-29、「厚紙およびハガキに印刷する」P.2-34などを参照してください。

特殊機能を使って印刷する

［その他特殊機能］タブのプリント機能モードを設定しておくと、印刷時に実行して印刷することができます。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、印刷時に使用するその他特殊機能を設定します。

① （その他特殊機能）をクリックします。

②「その他特殊機能」のリストから設定する項目をクリックします。
リストの右側に設定内容が表示されます。

③ 詳細を設定します。

プリンタ機能はモデルによって異なる場合があります。
※ 1　設定保護管理機能は Windows® 95/98/Me ユーザー専用です。
※ 2　Windows® 95/98/Me の場合は［拡張機能］タブの［グラフィックス］で［印刷設定］の［手動設定］をクリックして表示される画面で、HRC の設定と TrueType モードを変更できます。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、原稿サイズ、用紙種類、給紙トレイなどを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5を参照してください。

3 印刷を開始します。

印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-29、「厚紙およびハガキに印刷する」P.2-34などを参照してください。

第 3 章

添付ソフトウェアを使う

TrueTypeWorld

ファイル格納場所

付属の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

- TrueTypeWorld Windows 95 版
  CD-ROM ドライブ：¥FONTS

インストール対象の OS については、「基本仕様」P.3-3を参照してください。

書体見本

以下の TrueType フォント 20 書体が格納されています。

書体名	見本	書体名	見本
羽衣 L	愛の広がる美しいフォント	創英丸ポップ体	愛の広がる美しいフォント
羽衣 E	愛の広がる美しいフォント	白洲ペン楷書体	愛の広がる美しいフォント
高橋隷書体	愛の広がる美しいフォント	白洲行草書体	愛の広がる美しいフォント
江戸文字勘亭流	愛の広がる美しいフォント	白洲太楷書体	愛の広がる美しいフォント
行刻	愛の広がる美しいフォント	平成角ゴシック体™ W3	愛の広がる美しいフォント
半古印体	愛の広がる美しいフォント	平成角ゴシック体™ W9	愛の広がる美しいフォント
行書体	愛の広がる美しいフォント	平成丸ゴシック体™ W4	愛の広がる美しいフォント
祥南行書体	愛の広がる美しいフォント	平成丸ゴシック体™ W8	愛の広がる美しいフォント
正楷書体	愛の広がる美しいフォント	平成明朝体™ W3	愛の広がる美しいフォント
創英角ポップ体	愛の広がる美しいフォント	平成明朝体™ W9	愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント	書体名	字母メーカー名
HG ～	羽衣 L	株式会社大谷デザイン研究所
HG ～	羽衣 E	株式会社大谷デザイン研究所
HG ～	高橋隷書体	株式会社ブリッジ
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	行書体	株式会社リコー
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	祥南行書体	有澤祥南
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	平成角ゴシック体 ™ W3	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	平成角ゴシック体 ™ W9	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	平成丸ゴシック体 ™ W4	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	平成丸ゴシック体 ™ W8	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	平成明朝体 W3	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～ & HGS ～	平成明朝体 W9	（財）日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG ～』のみの場合は和文プロポーショナルに対応していません。

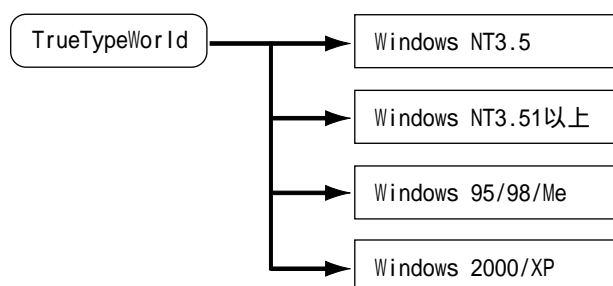
基本仕様

7,602 **文字（**MS **標準キャラクタセットに準拠、**JIS **漢字第一水準、第二水準を含む）**
フォーマット /Microsoft Windows 95 **日本語版準拠の** TrueType Collection **形式　（拡張子：** ttc**）**

- Windows 95 **以降で和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。**
- **フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。**
  「HGP ～**」　半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納**
  「HGS ～**」　半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納**
  「HG ～**」　固定ピッチ情報のみ格納**
- **和文プロポーショナル機能を使用するには、**TrueType Collection **に対応しているアプリケーションが必要です。**

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

・インストール対応図

Windows 95 版は、以下の OS に対してインストールすることができます。

Windows へのインストール

ここでは、操作例として Windows 95/98/Me へのインストール方法を説明しています。その他の OS へのインストール方法については、OS に付属の説明書を参照してください。

- インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。
- リモートドライブ（ネットワーク上のドライブ）にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときに他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。

- Windows をインストールしたハードディスクに、1 書体当たり約 2 ～ 8MB（書体によって異なります）の空き容量が必要です。
- インストール後、フォント名は、Windows 95 版フォントでは 3 つの書体名「HG ～」、「HGP ～」、「HGS ～」と表示されます。たとえば「行書体」の場合、コントロールパネルのフォントフォルダの中では、フォント名が「HG 行書体＆ HGP 行書体＆ HGS 行書体」と表示されます。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［コントロールパネル］をクリックします。
② ［コントロールパネル］の［フォント］をダブルクリックします。
③ ［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］をクリックします。
④ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
⑤ ［ドライブ］ボックスのドロップダウンメニューから CD-ROM ドライブを選択します。
⑥ ［フォルダ］ボックスで、［Fonts］→［Win95nt］の順にフォルダを開きます。
⑦ ［フォントの一覧］ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。
⑧ ［フォントフォルダにフォントをコピーする］に 印が付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

これでインストールは終了です。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

第 4 章

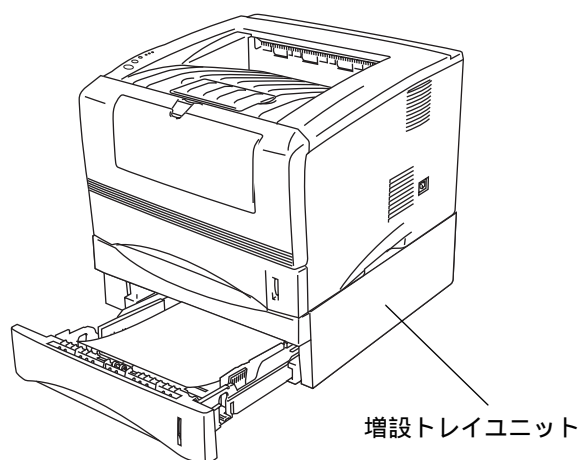
オプションユニットを使う

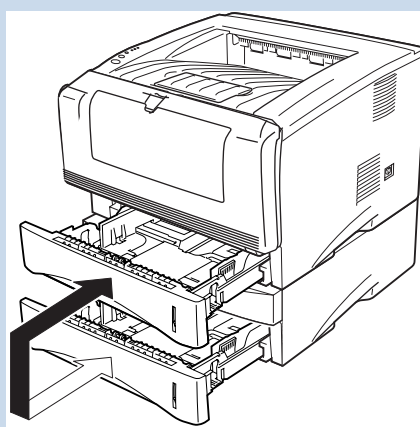
取り付けできるオプション

本プリンタには、次のようなオプションのアクセサリーがあります。オプションを取り付けることでプリンタの機能をさらに拡張することができます。
下表の マークをクリックするとそれぞれの詳しい情報を見ることができます。

・ 250 **枚増設トレイユニット** P.4-3

増設トレイユニットを取り付ける

増設トレイユニットは、大容量給紙を可能にするオプション品です。普通紙で最大 250 枚（坪量 64g/m^2）の給紙ができます。

増設トレイユニットを購入する場合は、プリンタを購入した販売店にお問い合わせください。
取り付けの詳細は、増設トレイユニットに付属の説明書を参照してください。

ご購入いただいた増設トレイユニットに付属のカセットを引き出し、プリンタ本体に付属のカセットと交換してください。これを行わないと用紙を正しく送ることができません。

第5章

メンテナンス

こんなときには

本プリンタは定期的に消耗品を交換し、清掃する必要があります。
CD-ROM **メニュー上の「こんなときには」から、プリンタのメンテナンス方法について、アニメーションにてご覧いただけます。ぜひご利用ください。**

① トナーの交換方法をアニメでご覧いただけます。
② 感光体ユニットの交換方法をアニメでご覧いただけます。
③ スキャナーウィンドウのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
④ 感光体ユニット内にあるコロナワイヤーのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
⑤ 感光体ユニット表面のクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
⑥ スキャナーウィンドウと感光体ユニット内にあるコロナワイヤーのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
⑦ 感光体ユニット内にあるコロナワイヤーのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。

上記の項目については「印刷品質を改善するには」P.6-14**でも説明されています。**

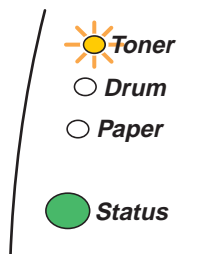
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

トナー

トナーの寿命は、印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の用紙に片面印刷した場合、IPSiO トナーでは 3,300 枚の印刷が可能です。

- トナー消費量は、ページ上の印刷面積比と印刷濃度設定によって異なります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 新品のトナーは交換するときまで開封しないでください。
- 印刷面積の低い文書を印刷しつづけると、Toner ランプが点灯する前に、グレーの背景があらわれることがあります。

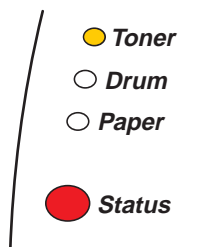
トナーの状態を確認する

トナー少量メッセージ

Toner ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返しています。

トナーの残量が残り少ないことを示しています。トナーが完全になくなる前に、新しいトナーを購入してください。「トナーを交換する」P.5-5を参照してください。

トナーが空になる寸前のときは、Toner ランプは点滅したままです。

トナー切れメッセージ

次のようにランプメッセージが表示された場合は、トナーを交換してください。

トナーを交換する

警告

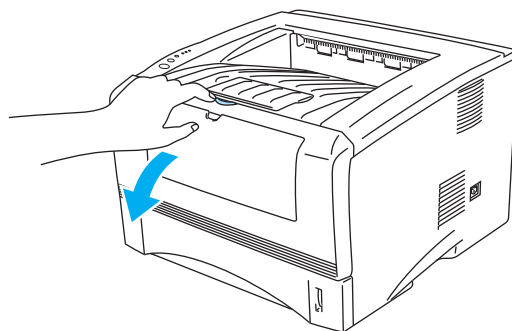
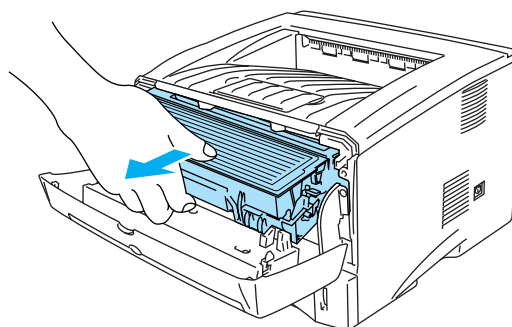
・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器や感光体ユニットを火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

注意

・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

・トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、プリント品質を評価しています。品質維持のため、リコー指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

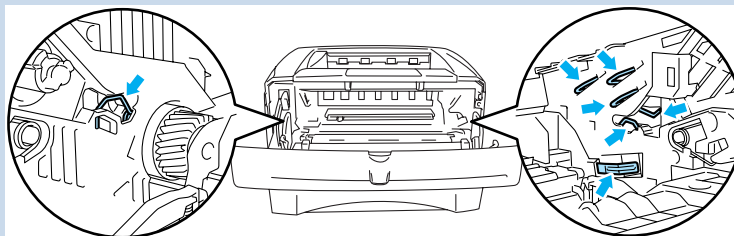
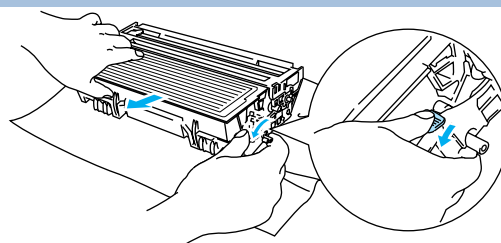
・トナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

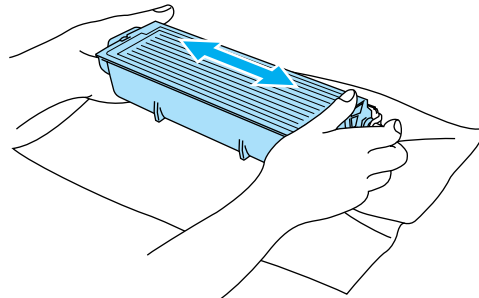
1 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

2 感光体ユニットを取り出します。

注意

- トナーがこぼれたときのために、感光体ユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをお勧めします。
- 静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

3 青色のロックレバーを押し下げながら、感光体ユニットからトナーを取り外します。

注意

- トナーの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

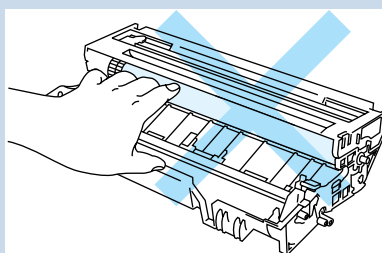
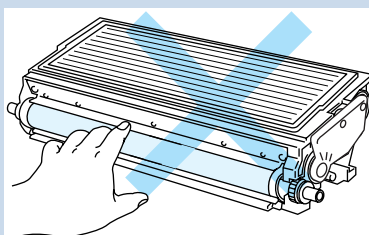
4 新しいトナーを開封します。トナーが均等になるように、左右に 5 ～ 6 回ゆっくりと振ります。

注意

- 新品のトナーは交換するときまで開封しないでください。長時間、開封したままで放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- 感光体ユニットを開封してから強い直射日光または室内光線にさらすと、感光体ユニットが損傷する場合があります。

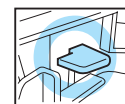
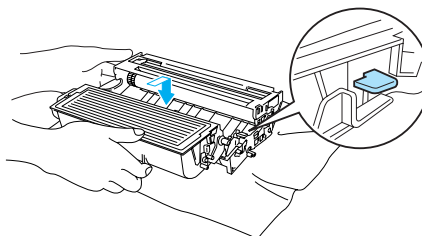
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

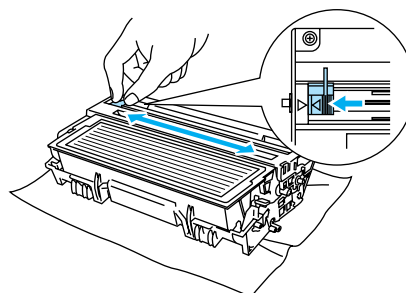
5 保護カバーを外します。

注意

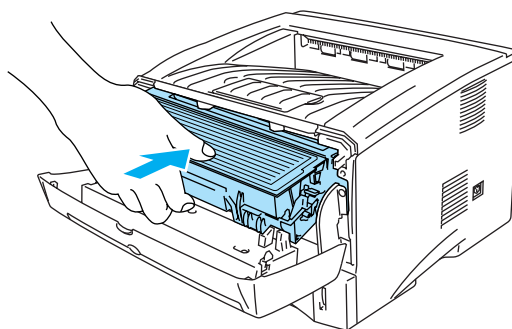
保護カバーを外したトナーは、すぐに感光体ユニットに装着してください。また、印刷品質の劣化を防止するため、下図で影付の部分には触れないでください。

6 新しいトナーを感光体ユニットに装着します。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。

注意

トナーが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーは感光体ユニットから外れる場合があります。

7 感光体ユニットの青色タブを 2、3 回往復させ、感光体内部のワイヤーを清掃します。青色のタブを必ず元の位置（▲）に戻してから感光体ユニットを本体に戻します。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

注意 青色のタブが元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

8 プリンタに感光体ユニットを取り付け、フロントカバーを閉じます。

- ご使用後のトナーカートリッジは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

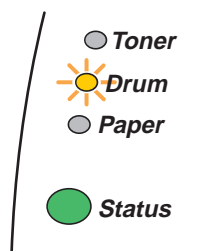
安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

感光体ユニット

感光体ユニットの寿命は、印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の用紙に片面印刷した場合、約 20,000 枚の印刷が可能です。

- 感光体ユニットの寿命に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的な感光体ユニット寿命は約 20,000 枚です。実際の感光体ユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 最良の性能を発揮させるために、リコー指定の感光体ユニットだけを使用してください。プリンタは、清潔で塵埃が発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- 指定以外の感光体ユニットを使用して印刷すると、印刷品質が低下するだけでなく、プリンタ自体の品質が低下したり、寿命が短くなる可能性があります。この場合に発生した故障は保証の対象とはなりません。
- 感光体ユニット（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

感光体ユニットの状態を確認する

感光体寿命メッセージ

感光体ユニットの寿命が少なくなっています。印刷品質が劣化するおそれがあるので、お早めに感光体ユニットを交換されることをお勧めします。「感光体ユニットを交換する」P.5-10を参照してください。
Drum ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返しています。

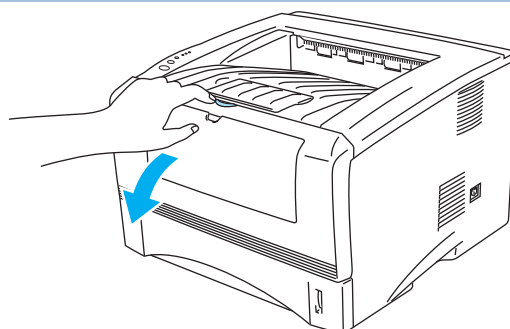
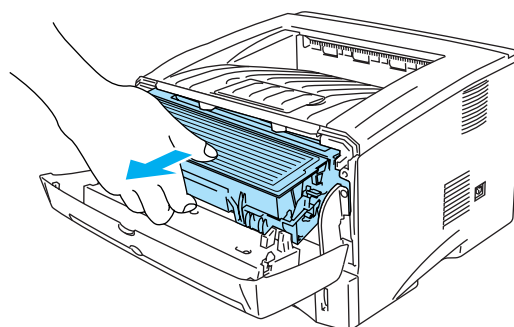
注意

- 内部にトナーが残っている場合があるので、感光体ユニットの取り外しには細心の注意を払ってください。
- 感光体ユニットを交換するときは、プリンタを清掃することをお勧めします。「クリーニング」P.5-13を参照してください。

感光体ユニットを交換する

感光体ユニットを交換するときは、プリンタを清掃することをお勧めします。「クリーニング」P.5-13を参照してください。

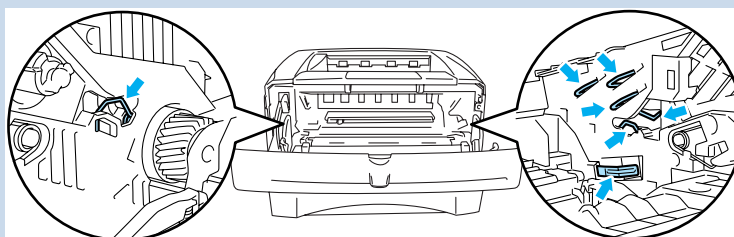
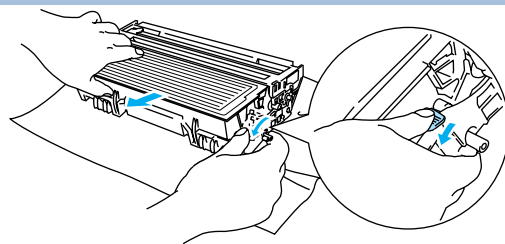
感光体ユニットの交換方法は、CD-ROM メニュー上の「こんなときには」からアニメーションでもご覧いただけます。

1 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

2 感光体ユニットを取り出します。

注意

- トナーがこぼれたときのために、感光体ユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをお勧めします。
- 静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

3 青色のロックレバーを押し下げながら、感光体ユニットからトナーを取り外します。

注意

- トナーの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

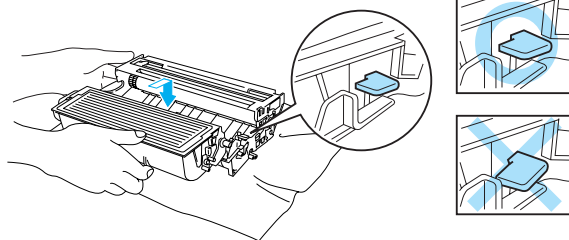
4 感光体ユニットを開封します。

注意

感光体ユニットをプリンタに取り付ける直前まで開封しないでください。開封してから強い直射日光または室内光線にさらすと、感光体ユニットが損傷する場合があります。

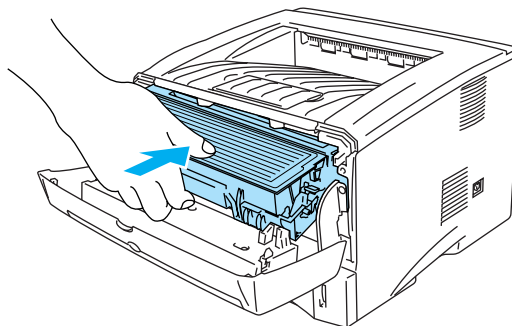
5 トナーを感光体ユニットに装着します。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。

注意

トナーが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーは感光体ユニットから外れる場合があります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

6 プリンタに感光体ユニットを取り付けます。

フロントカバーが開き、プリンタの電源が入った状態で Status ランプが点灯していることを確認します。

7 新しい感光体ユニットに同梱されている説明書を参照しながら、感光体ユニットカウンタをリセットします。

注意

- Drum ランプは、感光体ユニットカウンタをリセットするまで消灯しません。
- トナーのみ交換した場合は、感光体ユニットカウンタをリセットしないでください。

8 フロントカバーを閉じます。

9 Drum ランプが消灯していることを確認します。

- ご使用後は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

クリーニング

乾いた柔らかい布でプリンタの外部と内部を定期的に清掃してください。トナーや感光体ユニットを交換したり、印刷した用紙がトナーで汚れている場合には、プリンタ内部と感光体ユニットを清掃します。

プリンタのクリーニング方法は、CD-ROM **メニュー上の「こんなときには」からアニメーションでご覧いただけます。**

定期交換部品

商品の性能を維持するためには、定期交換部品の交換（有償）をおすすめします。

定着ユニット

寿命は使用条件により異なりますが、約 80,000 ページが目安になっています。

ペーパーフィーディングキット (給紙ローラー / 分離パッド)

寿命は使用条件により異なりますが、約 50,000 ページが目安になっています。

すべてサービス実施店にて、交換作業を実施させていただきます。
ただし、交換アラートが表示されませんので、印刷枚数を確認の上、サービス実施店に交換の依頼をしてください。

印刷枚数の確認方法を二つ準備しています。

①パソコンからの確認方法

ご使用のパソコンの「スタートメニュー」→「プログラム」→「NX60S」→「プリンタ情報」を選択し、さらに、ご利用の接続形態を選択してください。
「Page Counter」で印字枚数を確認できます。

②本体での確認方法

GO ボタンを 3 回連続で押してください。
PRINT SETTINGS が出力されます。左下の「PAGE COUNTER」で確認できます。

第 6 章 トラブルシューティング

トラブルの原因を確認する

使用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。

はじめに下記の項目をご確認ください：

- 電源コードが正しく差し込まれているか、プリンタに電源が入っているか。
- すべての保護部品が取り除かれているか。
- トナーと感光体ユニットが正しく装着されているか。
- フロントカバーがしっかり閉まっているか。
- 用紙が用紙カセットに正しく挿入されているか。
- プリンタとコンピュータがインターフェースケーブルで正しく接続されているか。
- コンピュータが正しいプリンタポートに接続されているか。
- 正しいプリンタドライバがインストールされ、選択されているか。

プリンタが印刷をしない：

上記のチェック項目で問題が解決されない場合は下記の項目の中から関連する事項を見つけて指示に従ってください。

- ランプが点滅している
  「コントロールパネルの見かた」を参照してください。........................... P.1-5
- ステータスモニタにエラーメッセージが表示される
  「ステータスモニタのエラーメッセージ」を参照してください。.................... P.6-3
- エラーメッセージが印刷される
  「印刷によるエラーメッセージ」を参照してください。........................... P.6-5
- 用紙のトラブル
  「使っている用紙を確認する」を参照してください。............................. P.6-6
- 紙づまり
  「使っている用紙を確認する」を参照してください。............................. P.6-6
  「紙づまりが起きたときは」を参照してください。............................... P.6-8
- その他のトラブル
  「その他のトラブル」を参照してください。....................................... P.6-13

ページを印刷するが、問題がある：

- 印刷品質を改善したい
  「印刷品質を改善するには」を参照してください。............................... P.6-14
- 正しく印刷できない
  「正しく印刷できないときは」を参照してください。............................. P.6-19

その他分からないこと、知りたいことがある：

- 本プリンタの詳しい仕様が知りたい
  「プリンタ仕様」を参照してください。... P.7-2
- 用語が分からない
  「用語集」を参照してください。... P.7-5

ステータスモニタのエラーメッセージ

ステータスモニタを表示させる

IPSiO NX60S 用のプリンタドライバ を使用している場合は、ステータスモニタでプリンタで発生したエラー情報などを通知できます。

1 「RICOH IPSiO NX60S のプロパティ」ダイアログボックスの［拡張機能］タブで （その他特殊設定）をクリックします。

2 リストから［ステータスモニタ］をクリックし、［オン］を選択します。

メモ
- ステータスモニタは初期設定ではオフになっています。［オン］を選択していないとステータスモニタを表示することはできません。
- Windows® 2000/XP の USB 接続では、ご利用になれません。

3 適用(A) または OK をクリックして、選択した設定を確定します。

ステータスモニタのエラーメッセージ一覧

ステータスモニタはプリンタの問題点を下記の表で示されたように表示されます。表示されたエラーメッセージに対して適切な処置を行ってください。

エラーメッセージ	解決方法
フロントカバーオープン	・フロントカバーを閉じてください。
ジャムクリアカバーオープン	・ジャムクリアカバーを閉じてください。ジャムクリアカバーについては P.6-11 を参照してください。
メモリフル	・Go を押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 ・文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。
用紙切れ	・用紙カセットに用紙が入っていないか、十分な用紙が入っていない場合があります。用紙カセットに新しい用紙を挿入してください。

エラーメッセージ	解決方法
給紙ミス	・用紙カセットに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙が反っている場合は、印刷する前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出して、もう一度そろえて用紙カセットに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 ・用紙カセットの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 ・ご使用の用紙が本プリンタに適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-12を参照してください。
紙づまり	・つまった用紙を取り除きます。「紙づまりが起きたときは」P.6-8を参照してください。
プリントオーバーラン	・Goを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancelを押してください。 ・文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 ・プリンタドライバのページプロテクトを ON にしてください。「ページプロテクト」P.2-23を参照してください。
解像度調整 (プリンタは解像度が低下した状態で印刷しています)	・プリンタが自動的に解像度を下げないように、作成したデータの複雑さを減らしてください。
トナー切れ	・「トナーを交換する」P.5-5を参照してください。
トナー少量	・新しいトナーを購入し、トナー切れが表示されたときのために準備してください。
サービスコール	・「サービスコール」P.1-8を参照してください

印刷によるエラーメッセージ

プリンタに問題が起こった場合、下記の表に示されたようなエラーメッセージを印刷して知らせます。プリンタが知らせるエラーメッセージに対して適切な処置を行ってください。

印刷によるエラーメッセージ一覧

メッセージは英文表記です。
本機は、メモリの増設をすることはできません。

エラーメッセージ	解決方法
メモリフル（MEMORY FULL）	・Go を押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 ・文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。
プリントオーバーラン（PRINT OVERRUN）	・Go を押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 ・文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。 ・プリンタドライバのページプロテクトを ON にしてください。「ページプロテクト」P.2-23を参照してください。
自動解像度調整（RESOLUTION REDUCED TO ENABLE PRINTING）（プリンタは解像度が低下した状態で印刷しています。）	・プリンタが自動的に解像度を下げないように、作成したデータの複雑さを減らしてください。

使っている用紙を確認する

最初に、ご使用の用紙が用紙規格に合致しているか確認してください。用紙規格については、「使用できる用紙と領域」P.1-12を参照してください。
用紙が原因で起こった下記のトラブルに対して、適切な処置を行ってください。

用紙が原因のトラブル一覧

トラブル内容	解決方法
給紙しない	・用紙カセットに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙が反っているときは、印刷をする前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出してから、もう一度そろえて用紙カセットに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 ・用紙カセットの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 ・手差し給紙モードがプリンタドライバで選択されていないか確認してください。
手差しトレイから紙を給紙しない	・確実に 1 枚ずつ用紙を挿入してください。 ・プリンタドライバで手差しモードが選択されているか確認してください。
封筒を給紙しない	・使用しているアプリケーションが印刷する封筒の大きさに設定されていることを確認してください。使用しているアプリケーションソフトのページ設定、または文章設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
紙づまりが起きる	・つまった用紙を取り除きます。「紙づまりが起きたときは」P.6-8 をご参照いただくか、「インタラクティブヘルプ」P.6-7 を参照してください。
上面排紙トレイに排紙をしない	・背面排紙カバーを閉じてください。
増設トレイが正しく給紙しない。(オプションの増設トレイユニット使用時のみ)	・増設トレイオプションがプリンタに正しく接続されているか確認してください。 ・プリンタドライバで適切なトレイ設定が選択されているか確認してください。

インタラクティブヘルプ

インタラクティブヘルプは、トラブル時の解決方法をアニメーションでご覧いただけるソフトウェアです。プリンタドライバをインストールすると、インタラクティブ ヘルプが自動でインストールされます。

インタラクティブヘルプの使用方法

1 デスクトップ上に作成された（インタラクティブヘルプ）アイコンをダブルクリックします。

インタラクティブヘルプが起動します。

［スタート］メニューから起動することもできます。

- Windows® XP **の場合**
  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［RICOH IPSiO NX60S**］－［インタラクティブヘルプ］の順にクリックします。**
- Windows® 95/98/Me/2000/Windows NT®4.0 **の場合**
  ［スタート］メニューから［プログラム］－［RICOH IPSiO NX60S**］－［インタラクティブヘルプ］の順にクリックします。**

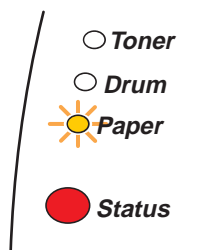
2 ご覧になりたい項目をクリックします。

解決方法がアニメーションでご覧いただけます。

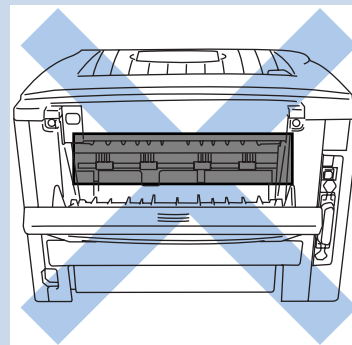
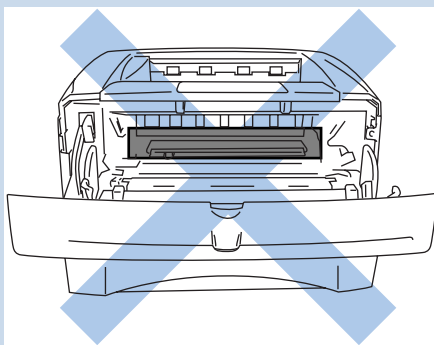
紙づまりが起きたときは

紙づまりの解決方法は、インタラクティブヘルプにてご覧いただけます。
「インタラクティブヘルプ」P.6-7を参照してください。

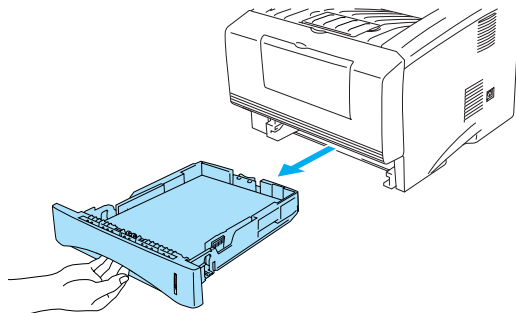
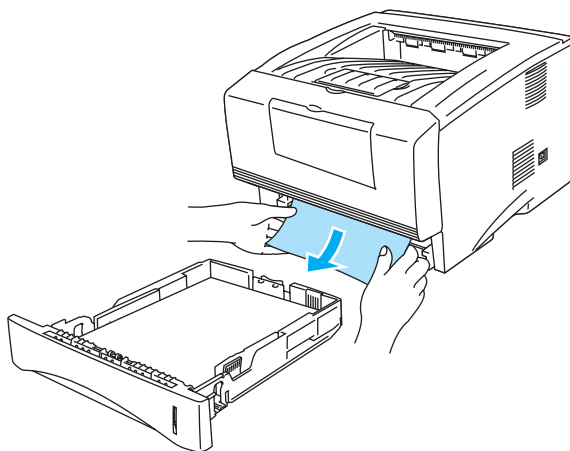
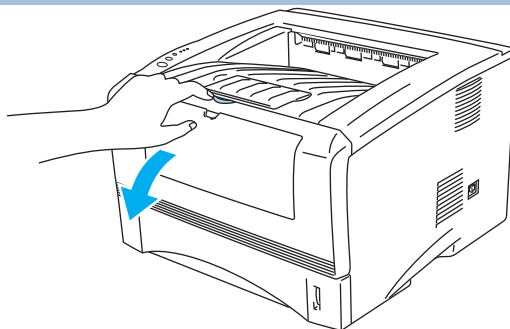
紙づまりメッセージ

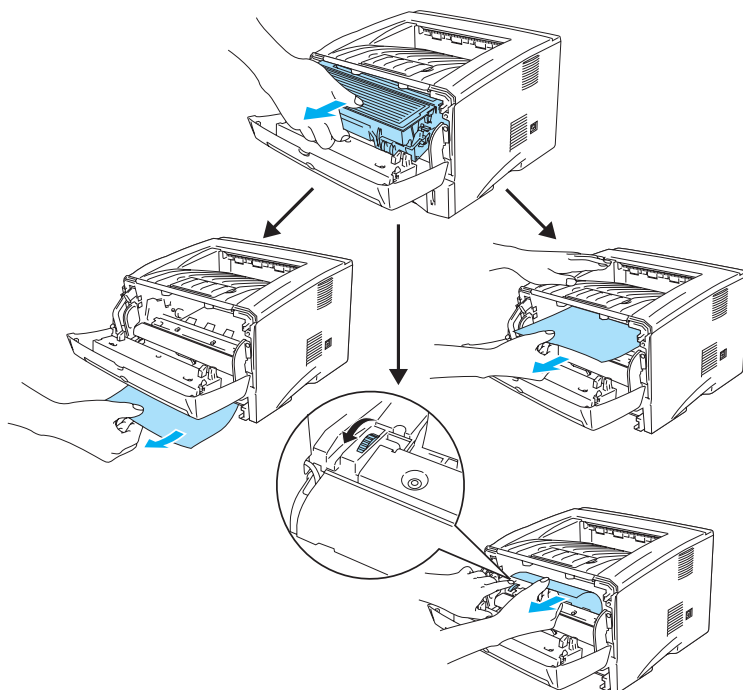
紙づまりが起きた場合、プリンタのコントロールパネル上のランプが下記のように点滅表示します。

紙づまりの解決方法

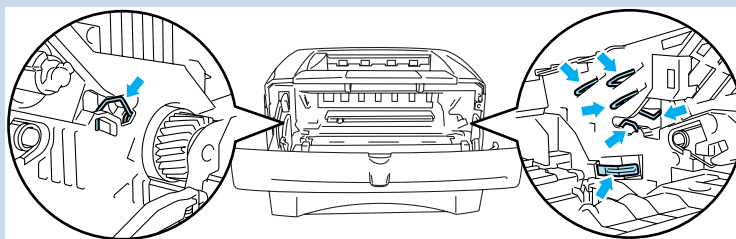
注意

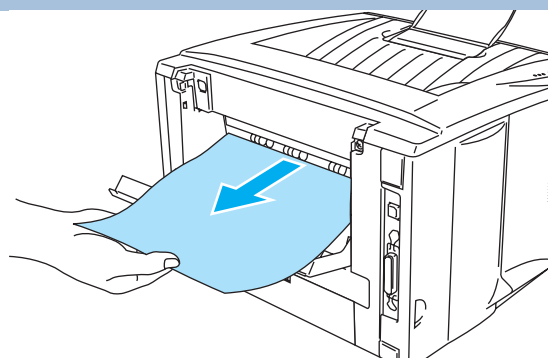
使用直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

次の手順にしたがって、つまった用紙を完全に取り除き、用紙カセットを挿入してフロントカバーを閉じると、プリンタは自動的に印刷を再開します。プリンタが自動的に印刷を再開しない場合は、Go を押してください。それでもプリンタが印刷を再開しない場合は、つまった用紙がすべて取り除かれているか確認し、もう一度印刷してください。

- 増設トレイユニットを使用しているときに紙づまりが発生した場合には、本体の用紙カセットが正しく取り付けられているか確認してください。
- 新しく用紙を足す際には、すべての用紙を用紙カセットから取り除き、まっすぐに伸ばしてください。これはプリンタが一度に複数枚の用紙を給紙することを防ぎ、紙づまりを防ぎます。

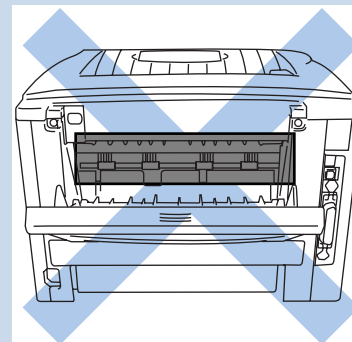
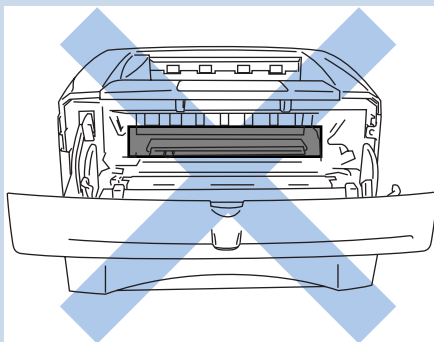
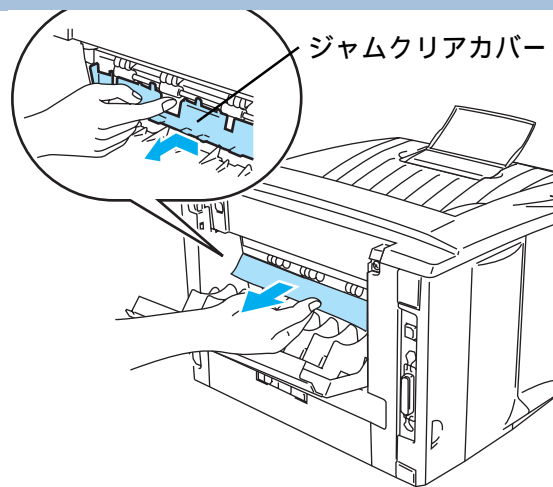
1 プリンタから用紙カセットを完全に引き出します。

2 つまった用紙を取り出します。

3 フロントカバーボタンを押し、フロントカバーを開けます。

4 感光体ユニットを取り出し、つまった用紙を取り出します。

プリンタ内部から簡単に取り出せない場合は、無理に引っ張らず、つまった紙の端を用紙カセット側から引き出してください。

注意

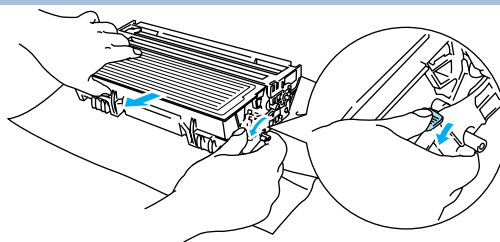
静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

5 背面排紙トレイを開けて、つまった用紙を定着器から引き出します。

紙づまりが解消されたときは手順 7 に進んでください。

用紙をプリンタの後方から引き出すときには、トナーが定着器に付着し、次ページ以降が汚れることがあります。「テストページの印刷」P.1-10を参照して、トナーによる汚れがなくなるまで数枚テストページを印刷してください。

警告

印刷直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

6 ジャムクリアカバーを開けて、つまった用紙を引き出します。

7 ジャムクリアカバーを閉じ、背面排紙トレイを閉じます。

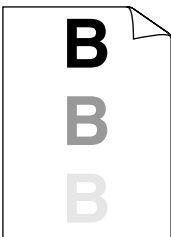
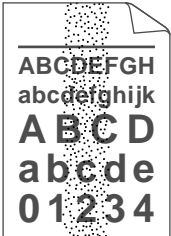
8 青色のロックレバーを下に押し下げながら、感光体ユニットからトナーを取り外します。

感光体ユニットの内部につまった用紙があるときは取り除いてください。

9 感光体ユニットをプリンタに装着します。

10 用紙カセットをプリンタに戻します。

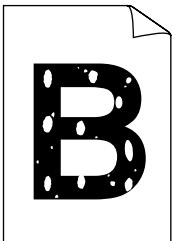
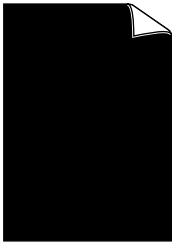
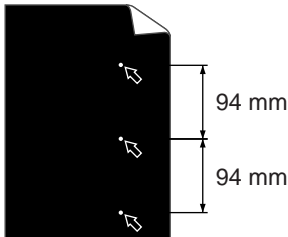
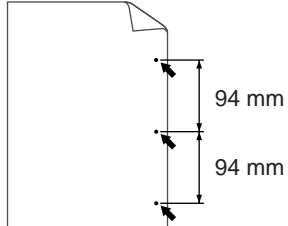
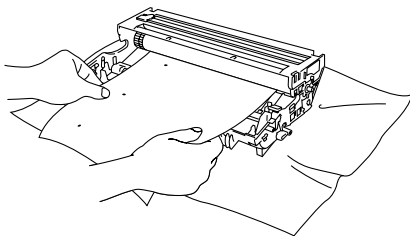
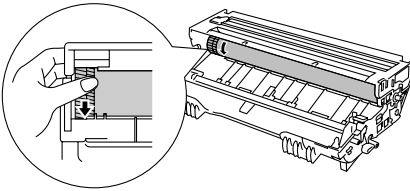
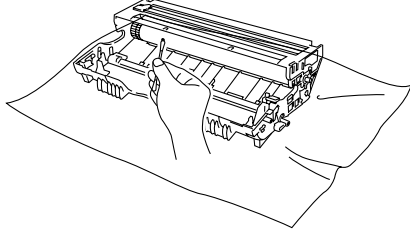
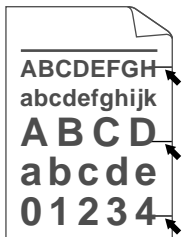
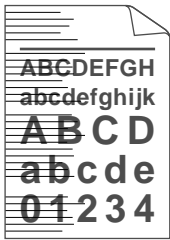
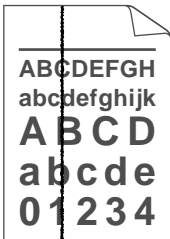
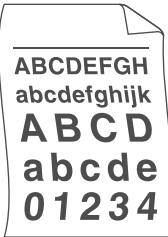
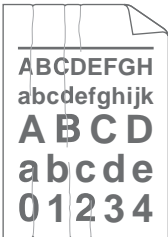
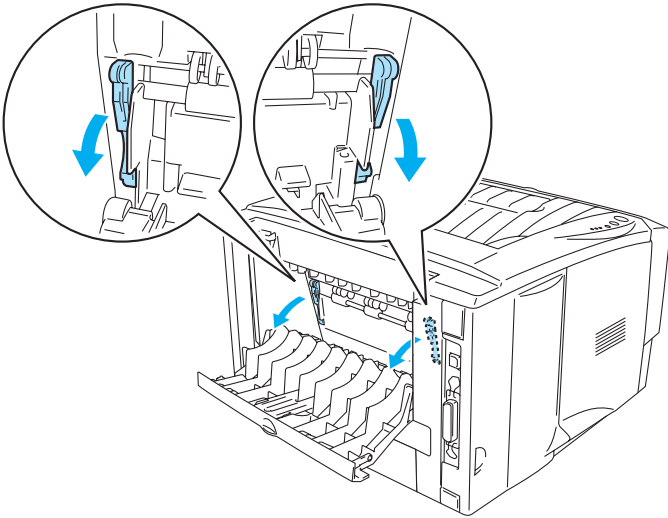
11 フロントカバーを閉じます。

その他のトラブル

問題	解決方法
印刷ができない。「LPT もしくは BRUSB への書き込みエラー」のエラーメッセージがコンピュータの画面上に表示される	・ プリンタケーブルが破損していないか確認してください。 ・ インターフェース切り替え器をご使用の場合は、正しいプリンタが選択されているか確認してください。

印刷品質を改善するには

下記の表に示された印刷品質の問題に対して、適切な処置を行ってください。

印刷品質の改善方法一覧

問題例	解決方法
かすれ（縦） ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234 かすれ（横） ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	・プリンタの設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。「このような場所に置かないで」P.4 を参照してください。 ・すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。プリンタドライバの［拡張機能］タブで「トナー節約モード」P.2-10 を［オフ］にしてください。 ・トナーを新品に交換して試してみてください。「トナーを交換する」P.5-5 を参照してください。 ・感光体ユニットを新品に交換して試してみてください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。
グレーの背景 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	・ご使用の用紙が本プリンタに適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-12 を参照してください。 ・プリンタの設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることがあります。「このような場所に置かないで」P.4 を参照してください。 ・トナーを新品に交換して試してみてください。「トナーを交換する」P.5-5 を参照してください。 ・感光体ユニットを新品に交換して試してみてください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。
残像 B B B	・ご使用の用紙が本プリンタに適しているか確認してください。表面が粗い紙や、湿気を吸収した紙、厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-12 を参照してください。 ・プリンタドライバで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。「用紙種類」P.2-7 を参照してください。 ・感光体ユニットを新品に交換して試してみてください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。
トナー汚れ ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	・ご使用の用紙が本プリンタに適しているか確認してください。表面が粗い用紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-12 を参照してください。 ・感光体ユニットが破損していることがあります。新しい感光体ユニットを挿入してください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。

問題例	解決方法
白い中抜け	・ご使用の用紙が本プリンタに適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-12を参照してください。 ・プリンタドライバで厚紙（ハガキ）もしくは超厚紙モードを選択するか、現在ご使用のものより薄い用紙をお使いください。 ・プリンタの設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。「このような場所に置かないで」P.4を参照してください。
真っ黒なページ	感光体ユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。青色のタブを 2、3 回往復させてください。青色のタブが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10を参照してください。 ・感光体ユニットが破損していることがあります。新品の感光体ユニットに交換して試してみてください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10を参照してください。

問題例	解決方法
白い点 94 mm 94 mm 黒い文章や画像が印刷されたページに 94 ミリ周期で白い点がある 黒い点 94 mm 94 mm 印刷されたページに 94 ミリ周期で黒い点がある	数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、汚れや紙粉が感光体に付着していることがあります。 下記の手順に従って感光体を清掃してください。 ① 印刷サンプルを感光体ユニットの前に置き、点が出る位置を確認します。 ② 感光体ユニットギアを手で回し、感光体表面にのりがついている場所を手前にもってきます。 ③ 感光体上の汚れの場所と、プリントサンプルの点の位置が一致していることが確認できたら、感光体の表面を汚れや紙粉がなくなるまで綿棒で拭き取ります。 ・感光体の表面を清掃する際は、ボールペンのような先の尖ったものは使用しないでください。 ・感光体が破損していることがあります。新しい感光体ユニットに交換して試してみてください。 「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。
黒い汚れが平行に繰り返し発生する トナーの飛び散りや汚れが印刷されたページ上に出る	・感光体が破損していることがあります。新しい感光体ユニットに交換して試してみてください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。 ・ご使用の用紙が本プリンタに適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-12 を参照してください。 ・ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光体感光体に付着する事があります。感光体ユニットを清掃してください。「クリーニング」P.5-13 を参照してください。 ・感光体表面を傷つけるおそれがありますので、クリップやホッチキスがついた用紙はご使用にならないでください。 ・開封された感光体ユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれる事があります。

問題例	解決方法
白い平行な線 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	・ご使用の用紙が本プリンタに適しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-12 を参照してください。 ・プリンタドライバで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。「用紙種類」P.2-7 を参照してください。 ・この問題はプリンタが自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページ印刷してこの問題が解消されるか試してみてください。 ・感光体ユニットが破損していることがあります。新しい感光体ユニットに交換して試してみてください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。
平行な線 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	・プリンタ内部と感光体ユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。「クリーニング」P.5-13 を参照してください。 ・感光体が破損していることがあります。新しい感光体ユニットを挿入してください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。
黒い垂直な線 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234 印刷されたページにトナーの汚れや垂直な線がある	・感光体ユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。「クリーニング」P.5-13 を参照してください。 ・コロナワイヤーの青色のタブが元の位置（▲）にあるか確認してください。 ・感光体が破損していることがあります。感光体ユニットを新品に交換して試してみてください。「感光体ユニットを交換する」P.5-10 を参照してください。 ・トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーを新品に交換して試してみてください。「トナーを交換する」P.5-5 を参照してください。 ・定着器が汚れていることがあります。サービス実施店にご相談ください。
白い垂直な線 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	・トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーを新品に交換して試してみてください。「トナーを交換する」P.5-5 を参照してください。

問題例	解決方法
ページのゆがみ ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	・紙やその他のメディアが用紙カセットに正しく挿入されているか確認してください。また、ペーパーガイドが紙の大きさに合っているか確認してください。 ・用紙ガイドを正確にセットしてください。ペーパーガイドのツメが溝にしっかりはまっているか確認してください。「用紙カセットから印刷する」P.2-29を参照してください。 ・手差しトレイをご使用の場合は「手差しトレイから印刷する」P.2-32を参照してください。 ・用紙カセット内の紙の枚数が多すぎる場合があります。「用紙カセットから印刷する」P.2-29を参照してください。 ・紙の種類と品質を確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-12を参照してください。
反りまたはうねり ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	・紙の種類と品質を確認してください。高温または多湿によって紙の反りが起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-12を参照してください。 ・プリンタを長時間使用しない場合には、用紙が用紙カセットの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の用紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。 ・手差し給紙で印刷してみてください。「手差しトレイから印刷する」P.2-32を参照してください。
しわまたは折り目 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	・用紙が正しく給紙されているか確認してください。「用紙カセットから印刷する」P.2-29を参照してください。 ・紙の種類と品質を確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-12を参照してください。 ・手差し給紙で印刷してみてください。「手差しトレイから印刷する」P.2-32を参照してください。 ・トレイの中の用紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。
はがきがこすれて汚れる	・プリンタドライバで超厚紙モードを選択してください。
しわのある封筒 ABCDEFG EFGHIJKLMN	・図のように、プリンタ背面の背面用紙トレイを開け、左右の青色のつまみを押し下げます。 印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。つまみがリセットされ元の位置に戻ります。

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

正しく印刷できないときは

下記の表に示されたような正しく印刷できないトラブルに対して、適切な処置を行ってください。

正しく印刷できないトラブル一覧

トラブル内容	解決方法
印刷はするが、コンピュータ画面上で表示されているものとは違っている。	・プリンタケーブルが長すぎないか確認してください。長さが 2.5 メートル以内のものをお勧めします。 ・プリンタケーブルが破損または故障していないか確認してください。 ・インターフェース切り替え器をご使用の場合は、取り外して直接プリンタと接続して試してみてください。 ・正しいプリンタドライバが「通常使うプリンタに設定」として設定されているか確認してください。 ・その他の装置すべてを取り除き、本プリンタのみをポートにつないでください。 ・ステータスモニタを OFF にしてください。「ステータスモニタ」P.2-21を参照してください。
すべての文章を印刷することができない。" プリントオーバーラン " のエラーメッセージが表示される。	・Go を押して、プリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 ・文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。 ・プリンタドライバのページプロテクトを ON にしてください。「ページプロテクト」P.2-23を参照してください。
すべての文章を印刷することができない。“ メモリフル ” のエラーメッセージが表示され、エラーシートが印刷される。	・Go を押して、プリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、Job Cancel を押してください。 ・文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。

本機は、メモリの増設をすることはできません。

第 7 章

付録

プリンタ仕様

エンジン

項目		仕様
プリント方式		電子写真方式
印刷スピード		最速 18 ppm （A4 サイズで印刷時）※1
ウォームアップタイム		20 秒以下※1
ファーストプリントタイム（レディ時）※2		12 秒以下※1
解像度	Windows®	HQ1200※3 / 600 dpi / 300 dpi
	高解像度（HRC）	600 / 300 dpi

※1　本体用紙カセットからの場合です。原稿サイズまたは高解像度（HRC）を選択したときなど、データ量により遅くなることがあります。

※2　プリンタ始動から排紙完了までの時間

※3　2400 × 600dpi

コントローラ

項目	仕様
CPU	32bit RISC 133MHz
対応 OS	Windows® 95/98/Me/2000/XP, Windows® NT 4.0 対応
メモリ	8MB
インターフェース	IEEE1284 準拠（双方向）、USB 2.0※4
添付ソフト（付属 CD-ROM に添付）	True Type World

※4　お使いのコンピュータが USB 2.0 に対応していれば、最大 480Mbps での転送が可能になります。

ソフトウェア

項目	仕様
プリンタドライバ	Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0
ユーティリティドライバ	インタラクティブヘルプ※5 ステータスモニタ

※5　問題の解決にアニメーションヘルプを採用

コントロールパネル

項目		仕様
コントロールパネル	ランプ	4つ
	ボタン	2つ

用紙仕様

項目		仕様
給紙枚数	用紙カセット	250枚
	手差しトレイ	1枚
	増設トレイユニット（オプション）	250枚
最大給紙枚数		500枚
排紙※6	下向き	普通紙：150枚
	上向き	1枚
両面印刷		手動
用紙の種類	用紙カセット	普通紙、再生紙、ハガキ※7、OHP用紙※8
	手差しトレイ	普通紙、再生紙、ボンド紙、厚紙、ハガキ、 OHP用紙、ラベル紙、封筒
	増設トレイユニット（オプション）	普通紙、再生紙
用紙坪量	用紙カセット	64 〜 105 g/m^2
	手差しトレイ	64 〜 161 g/m^2
	増設トレイユニット（オプション）	64 〜 105 g/m^2
対応用紙	用紙カセット	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、A6、 ハガキ
	手差しトレイ	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5、A6、 封筒（洋形4号、定型最大120 x 235 mm）、ハガキ 幅　：69.9 〜 215.9mm 長さ：116.0 〜 355.6mm
	増設トレイユニット（オプション）	A4、レター、リーガル、B5（JIS）、A5

※6　坪量64 g/m^2 用紙で計算
※7　給紙枚数は30枚まで可能
※8　給紙枚数は10枚まで可能

安全
第1章 プリンタ準備
第2章 印刷
第3章 添付ソフト
第4章 オプション
第5章 メンテナンス
第6章 トラブル対応
第7章 付録
索引

消耗品

項目	商品コード	仕様
IPSiO トナー タイプ 60	509430	約 3,300 枚（A4 を印刷密度 5%で印刷した場合）※ 9
感光体ユニット タイプ 60	509429	約 20,000 枚（A4）※ 9

※ 9　印刷面積比や印刷ジョブなどによって実際の印刷枚数と異なります。

外形寸法 / 重量

項目	仕様
外形寸法	382（W）× 383（D）× 252（H）mm
重量	約 10.5kg　（用紙除く）

その他仕様

項目		仕様
消費電力※ 10	印刷時	460 W 以下（25 ℃）
	ピーク時	840 W 以下（25 ℃）
	スタンバイ時	75 W 以下
	スリープ	5 W 以下
稼動音	印刷時	51 dB 以下
	スタンバイ時	30 dB 以下
省エネ機能	パワーセーブ	有
	トナーセーブ	有

※ 10 電源スイッチが OFF でも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1W 以下の電力が消費されます。消費電力を 0W にするためには、電源スイッチでプリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その他

- 250 枚増設トレイ
- ケーブル
  - LP インターフェースケーブル タイプ 4S
  - LP インターフェースケーブル タイプ 4B
  - LP インターフェースケーブル タイプ 1B
  - USB2.0 プリンタケーブル
- 用紙
  - リコー PPC 用紙 タイプ 6000
  - 乾式 PPC 用紙マイペーパー
  - マイリサイクルペーパー 100(古紙配合率 100% 白色度 70%)

用語集

あ

● アイコン
コンピュータの画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● アプリケーションソフトウェア
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● インターフェース
コンピュータと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● ウィザード
設定作業を半自動化してくれる機能です。

● オプション機能
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

た

● タスクトレイ
コンピュータの画面上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● デバイス
ハードディスクやプリンタのような、コンピュータで使用されるハードウェアのことです。

は

● パラレルケーブル
複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。コンピュータとプリンタを接続します。

● プリンタケーブル
プリンタとコンピュータを接続するケーブルです。

● プリンタドライバ
アプリケーションソフトのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

ら

● レーザープリンタ
レーザーを使って文字や画像を印刷用の感光体に照射し、トナーを用紙に定着させるタイプのプリンタです。高解像度、高品質、高速、静音といった特長を持っています。

数字

● 2 IN1
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙に印刷する機能です。

● 4 IN1
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙に印刷する機能です。

A to Z

● DPI
Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、コンピュータの基本ソフトウェア群です。

● PC/AT 互換機
IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM PC/AT）の互換コンピュータに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● USB ケーブル
Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略で、ハブを経由して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、コンピュータの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Windows® 95/98//Me/2000/XP
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 95 年、98 年、00 年（= Millennium edition）、XP は 01 年に発売されました。

● Windows NT®
Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

索 引

ほ

ま

め

よ

ら

り

れ